

令和7年度

地域懇談会報告書

安芸高田市議会

1. 開催状況及び参加者

月日	地域	テーマ	参加者数
7月23日(水)	八千代町	フリーテーマ	20人
7月25日(金)	甲田町	地域コミュニティについて	15人
7月30日(水)	向原町	振興会活動について	27人
8月1日(金)	美土里町	空き家と駅周辺の活性化について	6人
8月4日(月)	高宮町	フリーテーマ	17人
8月7日(木)	吉田町	フリーテーマ	14人
合計			99人

2. グループ編成

(八千代・甲田・向原・高宮・吉田会場)

1班	2班	3班	4班	5班
山根 温子	小松 かすみ	南澤 克彦	新田 和明	児玉 史則
熊高 慎二	熊高 昌三	浅枝 久美子	益田 一磨	佐々木 智之
山本 数博	宍戸 邦夫	石飛 慶久	金行 哲昭	秋田 雅朝
大下 正幸				

(美土里会場)

1班	2班	3班
山根 温子	南澤 克彦	小松 かすみ
佐々木 智之	益田 一磨	熊高 慎二
山本 数博	浅枝 久美子	新田 和明
宍戸 邦夫	児玉 史則	熊高 昌三
石飛 慶久	秋田 雅朝	金行 哲昭
大下 正幸		

3. 懇談会で出された意見

(網掛け部分の意見は複数部署に関わるため、各部署に同一の記載をしています)

令和7年 地域懇談会 住民意見

- 7月23日 八千代文化施設フォルテ
- 7月25日 甲田文化センターミュージズ
- 7月30日 向原生涯学習センターみらい
- 8月 1日 美土里生涯学習センターまなび
- 8月 4日 高宮支所
- 8月 7日 安芸高田市民文化センタークリスタルアージュ

安芸高田市議会

危機管理監関係	P. 1
総務部関係	P. 3
企画部関係	P. 8
市民部関係	P. 19
福祉保健部関係	P. 21
産業部関係	P.22
建設部関係	P.27
教育委員会関係	P.30
行政委員会関係	P.34
市全体に対して	P.35
議会関係	P.39
国・県関係	P.47

危機管理監関係

1	最近 治安抑制 防犯カメラの設置を要望 庄原の事件など中山間地域でも重要になってきている 主要な場所への設置など リレー捜査ができる可能性 少しずつ増やしていければいいと考える 検討してほしい 不安な時代になっている 安心して住めないと感じてしまう 家庭用防犯カメラについても助成のPRをもっとしてほしい
2	相談できる窓口を分かるようにしてほしい。 地震対応に不安がある。 防災訓練が必要と思う。
3	高齢者の一人暮らしを見守る中で、家族関係を強化し、絆づくりが必要と思う。 防犯や見守るためのカメラ設置も必要と思う。 自治振興会組織との繋がりを強化するための取り組みが必要と思う。
4	車の免許返納が進んでいるが、進めるための対応策の一つとして、無人バス等の運行といった施策を進めてほしい。 地域の暮らしも含め（農業など）、政策を考えてほしい。地域の政策を総合的に、複合化して国の補助金等を活用できないか。
5	民生委員の活動はプライバシーや個人情報との関係等で活動がしづらい。その為にも普段からコミュニケーションづくりが必要ではないか。その工夫が必要ではないか。消防団員の成り手も少ない。その対策はあるか。経済圏や通勤圏等の分析も行ってほしい。
6	消防団員の減少はもちろんだが、災害等があった時の団員の出席率が思わしくない。家庭や仕事、プライベートなど、優先順位が団員個人によって違うんだろうと思う。正解や特効薬はないだろうが、もう少しどうにかなれば。
7	人命救助なら72時間というひとつの基準がある。団員不足があれば、交代すらできないような状況にもなりうる。大きな災害があった時には常備消防だけでは対応できないと思うが、現状では不安が残る。
8	火事の情報をお太助フォン等で流してほしい。当時は消防団のために流しているから、という執行部の意向でお太助フォンでは流さないとなっているが、見直してもらえないか。
9	火災の情報を流すことで、道を開けたりといった、地域が消化活動に協力してくれる、見えない消化活動をしてくれるような地域性もある。もっと一般にも情報を出した方が良いのでは。技術的には可能なのでは。LINEで流せるなら、お太助フォンでも可能なはず。
10	庄原で、84歳の女性の方が刺されて亡くなられた話があり、振興会としても、その方のことは認知していたが、地域としてその方を守ることができなかった、という想いを聞いた。防犯灯の補助等もされているようだが、やはり地域の方の安心・安全を守るためになんとかできないか。情報の多様化もあり、日にちが経てば風化して忘れてしまう、というようなことは避けたい。

11	<p>上限1万円の補助では電話機等の補助に限れば、良いと思うが、少し足りないところもあるように思う。カメラを設置しても、ネット環境がなければ録画されているだけで、あまり意味がない。家族等が見守りできて初めて防犯性が保たれるのでは。</p>
12	<p>振興会としても、防災のところにもう少し食い込んで活動ができればより良くなるのでは。</p>
13	<p>消防訓練を子どもの時から振興会単位で行なっていれば、防犯意識も根付くのでは。</p>
14	<p>地域で自主的な避難体制や連絡手段を整えている。これからは市民がアイデアを出し合いながら、より良い地域づくりを進めていくことが大切。</p>
15	<p>令和3年の水害では、上根地区が孤立、末石地区が立入禁止になるなど深刻な被害が発生。簸川の氾濫で交通が遮断された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難所の整備・周知不足 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の避難所体制は旧町時代のままで見直しがされていない。（市民から見直し箇所の提示あり） ・避難所の場所表示がなく、ポスター掲示のみでわかりづらい。 <ul style="list-style-type: none"> ・市が把握している民間避難所（ボート、メリィハウス）も住民には全く知られていない。 2. 避難所の数と立地への懸念 <ul style="list-style-type: none"> ・八千代地区は南北に長いのに避難所が少なく、遠くて利用しづらい。 ・土砂災害警戒区域でも避難所を増やしてほしい。必要なら予算をつけてでも整備してほしい。

総務部関係

1	前市長と議員のいわゆる名誉棄損裁判で、安芸高田市が補償するのはおかしいと思うので、求償権は行使すべきだと考える。公務員の不法行為が保険で解決するような内容で、名誉棄損を許しているように映る、保険金を返してでも求償権を行使すべきである。
2	市長も対話集会を積極的に開いてほしい。自ら説明することで課題や解決策がわかることもある。対話集会で前に進むことができるのではないかと。という要望。
3	求償権を請求しないのはとても悔しい、やはり気持ちは求償権を行使してほしい。ただ、考え方をかえると、話題をあたえる、炎上する、職員の対応、裁判の長期化になるので、一定の理解はできるという意見。
4	企業誘致をしてほしい大企業誘致をしてほしい。何か産業を増やしてほしい。人口増を考えてほしい。
5	前市長と議員のいわゆる名誉棄損裁判で、安芸高田市が補償するのはおかしいと思う。
6	安芸高田市にある団体は、地域事業団、社会福祉協議会、商工会、シルバー人材センターなど様々な団体がある。例えば、シルバー人材とかは拠点を丹比の農協の施設を借りている。支所にしても大きな建物で空いているところが多数あるため、そこに各団体に入ってもらいことにより地域の活性化につながるのではないかと。補助金を出している団体も多いので、賃料も安くできるのではないかと。支所に各団体を入れてもらいたい。吉田が中心であるというのは理解できるが、同様にフォルテも空いているところがあるので各団体、企業誘致等積極的に活用してほしい。
7	市役所の開庁時間 9時よりも早く開けてほしいという要望があるのなら 早番をつくって組織で対応したらどうか 顔が見られないのが不安に感じると思う 土日のどこかで一日でも開庁する日があればいいと思う
8	<p>地元のお祭り、氏子総代長をしているが、奉納行事の中で神祇・神輿など 人が集まらない コロナでやめないといけなかった 下根は復活したが二つに分かれ 神祇の指導者がいない 祭りはよかったが 困ったこと 基幹集落センター（下根）は修理をしません、構造上の問題などに予算がつかない 故障等でも直せない コミュニティに必要な施設の継続をどうするか 神祇の練習をどうするか 環境の整備 10代はそういう環境を嫌う 保護者も参加させなくなる “施設の継続のための予算” がつかないこと</p> <p>神楽団も練習で使用している 地域にとってダメージではないかと思う 神楽団の利用もあるが可部から来ている わざわざ来ている（地域をこえたコミュニティ）</p> <p>コミュニティのほうの問題 鍵の管理 支所が担っている 以前のように持ち回りができなくなってしまった コミュニティの本来持つ関係性が希薄になっている 市外へ出ている世代がいる 距離が遠いのに支所が管理（幸い教育分室があいている）</p>

9	つづき みどりかい団地 80世帯 4つに分かれた 団地の下（たにのじょう）に集会所をつくった 何十万かの寄附 祭りは上の集会所 鍵は年ごとに交代 会計報告から全部の管理を地元でしている 規約見直しなど とんどの祭り 個人使用費用・年会費を集めて運営している 世帯数減 担い手不足 4人の区長 年ごとにリーダー交代 昔はサロンなど 頻繁にしていたが今は人数が少ない 会員に入らない人も出ている 外灯についても集金しながらだが会員ではない人からは取れない 地域集会所も結構点在している 光熱費も負担になっている 地域施設の維持管理について、今後も継続しているか心配
10	市のホームページをわかりやすくしてほしい 地域懇談会の情報発信も少なく感じる 補助金などの情報窓口をまとめてもらったほうがわかりやすいと思う 何課が窓口かわかりにくい 所得税の還付などについてもトピックを見逃してしまったら損だから
11	前市長の裁判結果として、市が最高裁で敗訴。33万円の損害賠償を受けることとなった。当時の議員がなぜそこにブレーキがかけられなかったのか。
12	裁判費用だけでなく、市の職員が裁判に出向いてのコストもあったと思う。
13	市が支払った金額をきちんと前市長に請求してほしい。謝罪についても。求償権をしっかりと行使してほしい。
14	（前市長の裁判結果について）新しい議会と新しい執行部が尻拭いをする結果となる。しっかりとしてほしい。
15	なぜ市の懸垂幕に自衛隊員の募集を掲げているのか。どのような思いがあるのか。
16	国や県に向かって、陳情要望を執行部、議会、市民一丸となってあげるべき。もっとできるのでは。黙っているより、声を上げる方がまだ良いのでは。
17	陳情回数が多いとは見えるが、きちんと成果は出ているのか。
18	SNSに発信をするにあたり、少し固い気がする。もう少しやわらかい雰囲気発信が増えたりすると良いのでは。
19	これは何課、あれは何課、というのが分かりにくい。電話で問い合わせをしてもたらい回しになってしまう状況もある。
20	昔の「すぐやる課」ひとつ、ここにかければ分かるというような総合窓口があれば助かる。
21	市役所の開庁時間。利用者が少ないことを理由に短縮されたまま。職員のための組織でなく、市民のための組織である。利用者の多寡は関係ない。議会はそこをきちんと理解して対応してほしい。
22	市職員の時間外コストを市長は話されていると認識していた。退職者が増えている理由もあるのでは。
23	公僕という考え方を職員はきちんと持たないといけない。民間企業とは違うというところは理解してもらわないといけない。
24	全職員が開庁時間に合わせて対応するわけではない。

25	支所に勤めていると、やはり8時半にいらっしゃる市民の方はいらっしゃる。ルールがあるために入れてあげることができない。
26	休日対応も必要なのではないかと。市民の立場から見て、あればありがたい。
27	文化創造センターの壁が崩落しており、安全確保のため、早急な解体が必要。
28	吉田生活改善センターや甲立の基幹集落センターは「将来的に解体される方向性を聞いている」がどのような対応になるか。

29	<p>② 八千代の総合施設の活用と文化施設の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八千代総合施設は家賃収入があり一定の資産性があるが、十分活用されていない。 ・可動椅子の修繕費などコストはかかるが、文化施設の切り捨ては地域の衰退に直結。 ・支所の活動や存在意義が見えにくく、機能不全。 <p>● 提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所でなく文化施設を中核とする地域活性化拠点の再設計 ・集落支援員を中心にした地域運営型の施設活用（イベント運営、空間貸し） ・修繕予算は家賃収入を活かし、住民と共に透明な議論を通じて判断 ・支所は機能を絞り、コンパクト化・移転の検討
30	<p>③ 空き家・空き施設の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクは機能しているが、予備軍を含めると実態は追いついていない。 ・空き家をきれいに維持するには手間・コストがかかる。 <p>● 提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き施設・空き家の民間貸出制度の整備と公開化 ・空き施設には用途限定付きで賃貸または売却（例：起業・宿泊・アトリエなど） ・高校生や移住者と連携した空き家活用プロジェクトの立ち上げ
31	<p>市役所が、平日昼間しか開いていないことで、働く住民が不便。支所の役割が不明確・非効率であり、市民との対話も乏しい。</p> <p>①開庁時間の延長（週1回夜間・休日窓口の導入）、②支所の再編・統廃合+地域運営組織との連携で小回りの利く行政体制を目指す。③支所に代わる**「地域連携ステーション（住民×行政）」モデルの試行**を提案する。</p>
32	<p>①市役所の開庁時間を元に戻してほしいとの声がある。</p> <p>②現在の開庁時間は、不便だと感じる市民が多い。</p> <p>③市長の改革姿勢には理解があるが、開庁時間に関しては不満の声が根強い。</p> <p>④アンケートでは本音が出にくく、「元に戻してほしい」という意見が多数あると見られる。</p>
33	<p>本市には魅力的な素材がなく、生活のしにくさ、子育て環境の未整備、商業施設が不足している。</p> <p>移住定住策として</p> <p>①企業誘致による、経済基盤の整備が不可欠。</p> <p>②学校の魅力を活用して選ばれる地域になる。</p> <p>将来への不安として、</p> <p>①団塊世代の引退や人口減少後の地域の維持に懸念。</p> <p>②都市部に魅力的な仕事が増え、若者にとって本市で魅力的な仕事が少ないことが、地域への定住に結びつかない。</p>
34	<p>【市長・副市長にも既に提案済みの内容】</p> <p>①歳入増のためには、企業誘致が不可欠。特に「物流会社（アメリカ企業）」など、大規模な土地を必要とする企業のハブ拠点の誘致が現実的。</p> <p>②企業誘致や空き家対策などをワンストップの窓口で対応できる体制を希望。</p>

35	<p>情報が届かないまちの現実</p> <p>①イベント情報を知ったときにはもう終わっていた。周知が不十分で、関心があっても参加できない現実がある。</p> <p>②広報チャネルの分散と見落とし 広報紙・ホームページ・LINE・お太助けフォンでの情報の見逃しが生じている。LINEなど新たな手段は「存在自体を知らなかったとの声もある。</p> <p>③SNS時代に求められる個の発信力 情報は自ら探す時代。市民はSNSを活用して情報収集を行っている一方で、市側の発信力や議員一人ひとりの情報共有の動きはまだ弱い。市議一人ひとりの発信にも期待している。</p> <p>④民間イベントは取りこぼされがち 行政主催のイベントは公式に発信されるが、民間や地域主催のものは広報されにくい。こうした情報こそ、議員が拾い、発信の架け橋になることが期待されている。</p>
36	<p>1. 地域ルールの可視化が必要 各地域の「共通ルール」や「掟」のような内容をまとめたパンフレットを配布してほしい。知らずに暮らすのはつらい。</p> <p>2. 未転入者への説明 住民票を移していない人にも地域ルールの説明が必要。</p> <p>3. 生活情報の不足 「お太助ワゴン」の利用方法がわからない。若者向け施策だけでなく、高齢者向けの情報提供も必要。 インターネットは光回線がなく、驚いた。固定電話なしでホームルーターを利用中。</p> <p>4. 施設利用の不明瞭さ 八千代の「B&G施設」の意味が分からなかった（魚関連施設だと思った）。地元では常識でも、移住者には分からない。</p>
37	<p>研修について、執行部、議員もどどんお金をかけて外にしっかり勉強してほしい。議員には政務調査費もあるので調査研究をもっとしてほしい。ここにはお金をかけていいと思っている。それでよい提案ができれば安い。</p>

企画部関係

1	<p>空き家に関しては、増加している。向原町に限らず増えている。少子化である仕事がない大都会に中心になっている、仕事場がないのが一つの原因である、少子化もすぐに解決できない。駅周辺の活性化について今は、駅周辺はさびれてきている、活性化に成功した駅もある、しかし、向原駅の立地条件は悪く、駅中心のまちづくりをしてほしい。芸備線も大事である。トンネルもできて吉田からの流れを作り活性化に繋がるようにしてほしい。</p>
2	<p>芸備線の発着にあわせたバスの発着時間、連携をしてほしい。バスの便が少ないので高齢者の利用を考えてほしい。空き家については、空き家を活用した移住した本もでていたが、最近空き家の本も出版数が減ってきた。特に過疎化に田んぼが無料であるとか、居住条件で差し上げますとか特色のある空き家対策にしてほしい。</p>
3	<p>空き家対策、人口増やそうとするには、外部（都会）の人を受け入れる環境の整備も必要ではないか</p>
4	<p>芸備線の向原駅の活性化といっても列車本数から厳しい。希望は、狩留家まできている便、志和口までの便を向原駅まで延長してもらい、利便性を高めてほしい。向原駅から広島は通勤圏である</p>
5	<p>地域そして駅の活性化のためには、駅のバリアフリー化を考えてほしい。そのためには、安芸高田市の活性化を総合的に考える必要がある。今後どのような市にするのか市民に説明があるのではないか。</p>
6	<p>今後さらに過疎化になるが、安芸高田市はどのように考えているのか。将来どうなるか。子供に説明できないし心配である。2040年問題もあるし今後、例えば人口が3～5割減る。どのような交通手段でいくのか、草刈りはどうするのかなど心配ばかり。安芸高田市としても検討はしているはずだが、市民へ状況を説明してほしい。</p>
7	<p>教育についてとても大切だと思っている。住む地域によって教育の差があってはならない。特に都会に負けないよう、安芸高田市に行政が教育塾をつくるぐらいしなないといけないのではないか。</p>
8	<p>日頃から気になっていることがある。安芸高田市は財政が厳しい、これからの市政を考えたとき、重点政策のみになってくるのではないか。大切なのは教育と福祉、医療になるのではないか。高齢者となりその部分を体験している。教育は国が支援や給食の無償化など進んできている。福祉はかなり大変で福祉にかかわる人が減ってきているのが課題。施設はあるが、待機の人も多いので、その施設がうまく連携できているか不安である。医療の点は吉田病院施設が老朽化している。病院が合理的でない。空いているベッドがあり、同じ階にお風呂があったりしてコストも大きくかかっている現状があるとおもう、中核医療をになう医療体制の充実をはかって住みやすい街にしてほしい。合わせて子供が産めない市は発展がない。やはり産科がない町ではいけない。総合病院として、産める状況・産科に必要な時にかかれる体制がとれるように要望する。</p>
9	<p>安芸高田市が何をしているのか 何にお金をつかっているのか。市として市民向けの勉強会をしてほしい。市政に興味を持ってもらえるように、若者向け市政勉強会を開いて、たとえば、起業した時の補助金など知らない人が多いのでぜひ考えてほしい。</p>

10	<p>庄原市・三次市・安芸高田市は連携しているが、芸備線について 他市はサンフレのようなシャツを着るなど取り組んでいる 芸備線のPRを市としても考えてほしい 他市に比べ、安芸高田市役所は熱が少ないように感じる 芸備線を利活用に取り組んでほしい 参考として、庄原市観光協会はカープ指定席を買って芸備線で行ってもらうなど 観光協会がないのが残念 向原駅の駐車場・入口がわかりづらい カーシェアもあれば駅からの移動も便利になればいいのに</p>
11	<p>駅の活性化していく目的 暮らしている人にとってもいい影響があるといい駅の活性化していく目的 暮らしている人にとってもいい影響があるといい</p>
12	<p>空き家が増えている 活性化までいかないが幹線に近いところはなんとかできそうだけど後継者がなんとかしていくしかない 問題として大きくなるのではない</p>
13	<p>駅の近くでも危ない状況の空き家がある。都会は人が減っているが活気を感じる。仕事がひと段落した人たち。文化活動・製作活動などをいろんな人ができれば。美術・動画にして発信している。工業は難しいが文化は魅力がある。広島からも駅もあるので人が来る。大土山の文化もある。まちづくりとして文化を</p>
14	<p>空き家のマッチングはタイミング。山や畑・田んぼが付いた土地建物は負担に感じる。家のサイズが大きすぎる。ほしい人のニーズに合わないケースがある。駅周辺の活性化はどういう状況か。つくっていくことが難しい。長田のほうは農業を志して空き家を購入する人がいる。そういう人へスポットを当てるなど方法ができそう。ケーキを作る人が空き家を買うこともある。売る側は全部引き取ってもらいたい。家財の処分なども双方の思いが合致しない。ミスマッチ。孫は広島市に出ていて壊そうにも壊せない事情もある。家のことは所有者が考える必要があるが難しい。壊すための資金も課題。</p>
15	<p>お互い町外から来て結婚。住んでいるが。将来は壊すなどして対応しないといけない。いいアイデアがあるわけではないが将来のことを考えていかないといけない。駅周辺の活性化。地元の人が元気になるか 他の地域から呼び込むのか。予算もいるがやらないと活性化はしない。海外からは魅力を感じてもらえていると思う。住んでいるから気づきにくいけど、いいところはたくさんある。そのいいところを次の世代に伝えていかないといけない。「なにをもって活性化というか」草刈りも大変。</p>
16	<p>空き家のことで移り住んだ人との交流。終活の一環として交流している。海外の人の宿泊事業。自分たちも交流することで元気・情報をもらっている。放置してしまったら使えなくなるので地域で集まって手入れをしたりしている。地域交流で広げて活動している。好きな料理を地域産物でつくる人もいる。移り住んだ人のいい影響を受ける面もある。</p>
17	<p>広島から来る人がいる。納屋を貸して農業を教わったり。地域の人々の農業を手伝ってくれる。少し農産物を販売したり</p>
18	<p>お太助フォンについて。機械を変えると知っているが現状どうなっているか。運営している企業のセキュリティについてのサポート面にも不安がある。資料を配る→留守不在という課題がある。スマートフォンだけにするとするのも操作できない人も一定数いるので慎重に選定してほしい。効率重視だとしても配り物で情報を得ている人もいる。</p>

19	<p>高齢化社会。行事をするにも集まりが悪い。いろんな地域で人を出すのが、声をかけても集まらない。ほぼボランティア。いろんな部に分かれて活動するが大変。振興会の解散という話も聞く。悩んでいる。振興会が下火になっている。奉仕という考えだから。若い人にやってもらえたらと思うが担い手がいない</p>
20	<p>当番をまわしているが「できない」という人が多い。実働でできる人が頻繁にやっている。推進委員などの引継ぎがうまくいっていないことが多い。1年ごとという期間にも課題がある。若い人が担うのが大変だということはわかっている。集金を振込にするなど工夫したが直接会うのも大切。できるところは効率化して行って。ちゃんとコミュニケーションをとることも大切。小さな集落行事は壊滅状態。イベントをしても行くことができない。もう少し大きいくくりで行事を行うなど工夫が必要。イベントを維持するうえで無償では限界はある。経費は結構掛かっている。邑南町、川角町の花桃イベントなどは少ない世帯数でとても賑やか。観光資源がなくともつくることもできると思う。ほたる祭りも昔はとても賑やかだった。花田植えもあるが少しずつ規模が小さくなっている。地域ごとのイベントは年間行事として重ならないようにしてほしい</p>
21	<p>川根の振興協議会。昭和の大水害を機に発足。19世帯。学校統合で小学校がなくなると動きが鈍くなる。年齢的な理由もあるが小学校があったことは大きい。宮掃除、活動する人は出ているが出ていない人もいる。寺も掃除しているが限定的。周知する必要があると思うが、先頭の人動きが鈍くなる。役職や活動の見直しなど、再編の必要性を感じている。</p>
22	<p>日韓交流のホストファミリーをしている。長くしすぎたせいで来る人との話が合わなくなる地域おこし協力隊のような人たちに外からの人に関心を持ってもらう。小学校の地域に関わる授業もしていた。子どもがいるような家族が地域で活動をしていくといい。山もあるので資源を活用した活動もあるといい。1円募金という活動をして多くもらうこともある。ボランティアの有償化なども可能性がある。集めた振興会費で報奨金を出していたこともある</p>
23	<p>子どもが少なくなっている。若い人がもっと増えてもらいたい。空き家バンクの利用もあった町内の方だった「空き家バンク」もっと他からも利用してもらいたい</p>
24	<p>年一回6月1日 みどりかい地域の清掃をしている。ゴミ袋は市役所でもらっている。集会所も年一回の清掃をしている。11月1日は町内一斉清掃がある。20年以上前から自主的に行っている。会員ではない人にも声掛けしている</p>
25	<p>市の収支の状況が分かる財政説明会を、すぐにでも行って欲しい。</p>
26	<p>認定こども園は運動公園周辺に決まったが、旧田んぼアート跡地の利活用については、どうなるか。</p>

27	<p>空き家になって時間が経って資産価値が減る前に、空き家活用策として空き家バンクへの登録の手続きなどがスムーズに行われるためにも空き家利活用促進パンフレットや公的なチラシを作成してはどうか。</p> <p>資料を葬儀場においてもらったり、電話帳に掲載するなどもっと積極的な情報提供を望む。 (空き家に関しては、約3500件あり、年間30件～60件の成約数があり、県内でも安芸高田市の成約数は上位と参加された不動産事業者さんより)</p>
28	<p>向原駅の利活用について議会はどのように考えているのか。駅ビルの利活用で暮らしとJRを繋ぐ必要がある。</p> <p>当初コロナ禍でスタートしたコワーキングスペースなど企業誘致があったようだが、市の取組がよく分からない、見えない。地域にもっと情報を出してほしい。</p> <p>人が集まるような魅力あるスポット（例えばジャンソーなど）を作るなどして楽しい賑わいの場を作してほしい。</p>
29	<p>駅周辺も空き家が多い。</p> <p>土地と家屋の登記が違うことは課題。</p> <p>向原町は水道事業整備が行われて約40年経過していることも今後の課題はある。</p> <p>安芸高田市内の位置づけ、利便性など売りとなる部分をもっと協調して空き家の利活用を進めるべきではないか。</p>
30	<p>JR芸備線の課題解決へ向け、市の関わりを強化してほしい。</p> <p>駐車場環境を整備し、駐車場の無料化を進めてほしい。</p> <p>階段等の整備など、乗り降りの環境について、整備をしてほしい。</p> <p>接続バス等の利便性改善に向け、実証実験を望む。</p> <p>備後庄原までの2輻編成を望む。</p>
31	<p>(集落支援員の視点での意見として)</p> <p>空き家活用や特産品の活用等で、人口増を促すことはできないか。</p> <p>孤独死があった現実の中で、高齢者の暮らしを守る手段が多様化している。とりわけ、生活交通の新たな仕組みづくりを要望する。</p>
32	<p>高齢者の一人暮らしを見守る中で、家族関係を強化し、絆づくりが必要と思う。</p> <p>防犯や見守るためのカメラ設置も必要と思う。</p> <p>自治振興会組織との繋がりを強化するための取り組みが必要と思う。</p>
33	<p>車の免許返納が進んでいるが、進めるための対応策の一つとして、無人バス等の運行といった施策を進めてほしい。</p> <p>地域の暮らしも含め（農業など）、政策を考えてほしい。地域の政策を総合的に、複合化して国の補助金等を活用できないか。</p>
34	<p>振興会活動はコロナ前の状況に戻ったが、会員の高齢化で、会員を含め活動が縮小している。</p> <p>これまでの状況通りでは、活性化が難しい。</p> <p>他の地域で良い事例があれば教えて欲しい。ヒントが欲しいという気持ち。</p>
35	<p>支援員の役割が、あまり理解できない。</p> <p>支援員のハードルが高すぎる。</p> <p>「支援員の支援員」が必要なのでは。</p> <p>制度のあり方を再考してほしい。</p>

36	振興会でのイベントは難しくなっている。若者主体のイベントに移行すべき時期に来ている。現在の振興会を一度、スクラップ&ビルドする時期に来ていると思う。若い方に一度、全て投げ出すくらいの意識改革が必要と思う。地域に若い人はもちろん、子どもがいない。振興会を超えた所で、仕組みの組み替えが必要と思う。
37	上根、向山地区は若い人の人口は安定しているが、30代～40代の知らない家族が多くコミュニティとしての繋がりが弱い。 保・小学校があるのがメリットなので、年代差を埋める必要がある。夏祭りなどを開催して住民同士の輪を広げると良いと考える。 若い家族向けに遊び場や広場等安心して集える場が必要と考える。
38	民生委員の活動はプライバシーや個人情報の関係等で活動がしづらい。その為にも普段からコミュニケーションづくりが必要ではないか。その工夫が必要ではないか。消防団員の成り手も少ない。その対策はあるか。経済圏や通勤圏等の分析も行ってほしい。
39	高校生等の通学バスについて。乗客がいっぱいで、八千代から目的地（市内の高校）へ通学する際に立ちっぱなしの状態が多い。バスの増便を望む。バス乗車カードの統一が出来ていなく利便性が良くないので実態調査を望む。
40	学校と人を繋げる基地のような地域振興の核になる女性を集めて、そのパワーやエネルギーを活かして情報発信や地域活性化など女性のコミュニケーション能力を活かしたまちづくりの取組を行ってほしい。コミュニティスクールの取組も学校が説明をするだけで、地域の協力を求めにくいのが現状。
41	公共交通の充実が必要である。八千代町で交通弱者に必要な地域交通として介助料タクシー制度を考えており、実現に向けて動いている。
42	前市長現市長で、上からの予算の下り方はかわったのか。予算の規模感としては縮小しているが。
43	高校生の100万円事業について。活用後の結果報告はされているのか。
44	現在の市長になって、予算等は増えたのか。
45	空き家の数が多い。不動産業をしているが、それに対応する時間とコストが合わない。（1筆2筆の話じゃない、大変な手間がかかる）登記が取れていない土地が問題。特に未登記の土地は、税法上登録されていないため、いざ謄本を取ってみてもわからない。土地の一部に未登記の土地や相続を受けていない土地があるせいで売買ができないケースもある。借家が多い印象。まちの中でも歯抜けのような形で土地が空いてる様子を見る。固定資産税は建物があると安くなることで、空き家のまま投げた方が安くなる問題もあり、古い建物が放置されていると景観も悪い。更地にすると草刈り問題もあり、難しい。

46	<p>空き家の利活用について、移住を含めた活用がもう少しできないか。生きている間に売買契約を交わして、死後にそこに住んでいただくようなシステムができれば。何年も風を通さず朽ちていくような土地は、早めに行政の力で倒すようなことができないか。安芸高田市、ないしは向原に住んでもらうためにはどうするのが良いか。例えば家賃を安くして、将来的に買取ができる仕組みとかも作れないか。移住者の多いところの魅力とはなんなのか？しっかりと煮詰めて考える必要がある。先進事例を調べる必要性も。</p>
47	<p>たまたま25年ほど前に長田に家が空いていたことをキッカケに移住。子どもたちがのびのびと走り回れるような環境を求めている。魅力的な場所だと思う。空き家に向けて、子どもを持つ家庭が移住できるような施策を打ち出して欲しい。かつては家の周りに子どもたちの姿があったが、今は見られなくなって寂しい。先進事例として明石市などの事例を見習うべき。子育てについての力の入れ方、施策を取り入れてほしい。若手が経済自立できるような支援があると良いのでは。</p>
48	<p>この10年ほどで駅周辺には新しいアパートも建っている。安芸高田市の中でも住みやすいところではないかと思う。もっと活かすような方法を考えてほしい。</p>
49	<p>芸備線もいまだに利用する。便利が良い。芸備線も含めた利活用を考えてほしい。緑井でライド&シェアをやっている。駐車場を無料で開放するなど、施策を打ってみると面白いのでは。</p>
50	<p>吉田に全てを集めるのではなく、他の土地にも目を向けてみては。向原は東広島にも近い、芸備線もあり、吉田とも近くなった。</p>
51	<p>可部バイパスのおかげで八千代に住宅地が増えた。向原では芸備線の使い勝手の悪さがあり、なかなかそこまでいけていないのでは。</p>
52	<p>向原は災害が少ない地域であると思う。蚊もいない。</p>
53	<p>山の境がちょうど泣き別れになっていて、同じ向原でも環境や生活圏が違うところを理解してほしい。</p>

54	若い方に来てもらうために、期間限定でもいいから思い切った大型の施策を打っていく必要があるのでは。
55	安芸高田市、特に高宮の地域は、住民人口が少なくなっている。一方で、外からいざ、来てもらえれば魅力も溢れる地域だと思う。外から人を呼び込む方法を、もっと考えてほしい。
56	福祉を大切にしてきた高宮町なので、そこをしっかりと全面に出してほしい。
57	湯の森は当初、地域振興会、商工会、酪農組合等が運営協会を作っていたが、いつの間にか湯治村に全て引き込まれてしまって、やる気を無くしているのが現状。市長にも進言したが、今一度働く方がやる気を出せるようにしてほしい。
58	高宮は8つの振興会があり、今は実質7振興会が動いている。コロナで活動が鈍化。4年間で活動が鈍っていたが、ここ1~2年でようやく活動が戻ってきたように感じる。これからも活気が保たれば良いが、定年も伸びている影響か、70歳でようやく地域活動に帰ってきてもらえるような状態。少しでも長く地域活動ができる期間があれば良いと思うが、なかなかいい方法が見つからない。いつかスーパースターが現れたら、という思いで活動をしている。
59	役員の中でよく聞く言葉が「役員の顔ぶれが変わらない」という声。地域のために汗を流すのが振興会のあり方であると思うが、若い方は仕事で精一杯で、役を引き受けてもらってもなかなか顔を出せなかったりといったところもある。
60	振興会の予算が少なくなっている。だんだん寂れてくるという焦燥感がある。バザーをしてもあまり儲けを出してはいけないという声も聞こえたりする。
61	敬老会の今後についても不安がある。個人情報保護法が厳しくなったことで、敬老会でのお祝いの取り組み等が難しくなってきたような流れを感じている。
62	地域で納涼祭を復活しようという動きがあり、今までより女性の活動も増えてきた。できれば行政からの後押し、応援があればなというのが正直な思い。女性陣の話を汲み取る必要があると感じる。
63	花田植え等の文化。1年に1回の伝統行事をなんとか維持して、盛り上げなければという思い。後継者問題もある。
64	納涼盆踊りについて。宗教的に、寺を中心に先祖を祭ろうと始まったもの。今、納涼盆踊りを復活させよう、協力しようという動きがある。夜のバザーに若者にも参加してもらいたいという思いがある。お盆に帰ってきた方をターゲットに、コロナ禍以降、少しづつ盛り上がりは回復してきているかと思う。
65	納涼祭、敬老会、収穫祭などを維持することが大切。「教育に投資を」という声も理解はできるが、自分の祖父母が活力なく、何もしていないような状況であれば、孫が「よし、大きくなったらこのまちに帰ってこよう」と思うかどうか。祖父母が「今日はグランドゴルフじゃ」「今日は敬老会のイベントじゃ」と楽しそうな姿であってこそ、子どもたちも帰ってきてくれるのでは。

66	<p>郷野小と可愛小の統合により、学校とのつながりが希薄になり、地域の寂しさを実感している。 地域住民の価値観が多様化しクレームが寄せられる。地域行事による世代間交流の工夫と課題。</p>
67	<p>芸備線という基幹インフラの活用が不十分で、利用促進策も乏しい。市としての戦略や投資が見えず、「予算がない」で終わる傾向がある。若者や通勤者への情報発信が足りない。 ①駅周辺の空き地を市が無料駐車場として提供、②芸備線を使えば市内へ1時間で通勤通学が可能という広報の実施、③駅利用でのポイント制・特典連携（地元店舗・高校連携）の実施を提案する。</p>
68	<p>② 八千代の総合施設の活用と文化施設の維持 ・八千代総合施設は家賃収入があり一定の資産性があるが、十分活用されていない。 ・可動椅子の修繕費などコストはかかるが、文化施設の切り捨ては地域の衰退に直結。 ・支所の活動や存在意義が見えにくく、機能不全。 ● 提案 ・支所でなく文化施設を中核とする地域活性化拠点の再設計 ・集落支援員を中心にした地域運営型の施設活用（イベント運営、空間貸し） ・修繕予算は家賃収入を活かし、住民と共に透明な議論を通じて判断 ・支所は機能を絞り、コンパクト化・移転の検討</p>
69	<p>③ 空き家・空き施設の利活用 ・空き家バンクは機能しているが、予備軍を含めると実態は追いついていない。 ・空き家をきれいに維持するには手間・コストがかかる。 ● 提案 ・空き施設・空き家の民間貸出制度の整備と公開化 ・空き施設には用途限定付きで賃貸または売却（例：起業・宿泊・アトリエなど） ・高校生や移住者と連携した空き家活用プロジェクトの立ち上げ</p>
70	<p>④ 若者・高校生の参画と支援 ・若者の居場所がなく、チャレンジ機会も不足。 ・若者のアイデアは出てくるが、行政側の受け皿や予算が追いついていない。 ・支援策が長期的で具体性に欠ける。 ● 提案 ・「若者まちづくりチャレンジ補助金」等を創設し、少額でも機動的に支援 ・高校・大学・若者団体との官民協働プロジェクト（イベント・空間・交通）を実施 ・若者による空間デザイン・拠点運営・アクション提案の制度化</p>
71	<p>吉田町に機能や予算が集中しているとの不満がある（社協・商工会・文化団体など）。また、他町は「切り捨てられている」との住民感情もある。 ①地域別事業費の見える化や拠点再配置の検討、②商工会・社協などについても「地域ごとの分室配置」「拠点ローテーション」などを検討、③市民との合意形成を図るプロセスを重視し、透明性を確保、を提案する。</p>
72	<p>向原駅の駐車場の場所が分かりづらい。駅周辺に有料駐車場があるという情報も知られていない。案内板や地図が不十分で、初めての利用者にとって不親切。</p>

73	<p>向原駅1階が汚く、整理整頓されていない。駅は向原の玄関口であるにもかかわらず、初期のような活気がない。 ドアが閉まっており中の様子が分からないため、近寄りづらい。「私も協力したい。今は草取りをしているが、何をしたらよいか分からない」との声もある。 向原は吉田町に比べて支援が届きにくい。地域資源の偏在と外郭団体の集中に課題がある。 ①地域ごとに「自主的な拠点再生モデル」を検討。②少額でも活用できる地域交付金・予算枠の創設（駅活用、草刈り、地域活動支援）③各町で市と連携して事業提案・実践できる制度の仕組み化、を提案する。</p>
74	<p>向原駅などでは通学・通勤や地域間移動の拠点として一定の潜在需要がある。また広島市への通勤にも芸備線はもっとアピールできる。駅を“使いやすい拠点”として整備することが重要であり、次の3点を提案する。 ①空き地の駐車場化（無料開放） 行政または第三セクターが駅周辺の空き地・未利用地を整備し、無料または低額の「駅利用者専用駐車場」として提供 ② 駐車場整備と連動した周知広報 地元自治体とJR、学校、企業が連携し、「向原町から芸備線を使うと〇分／交通費は〇円」といった利便性を見える化した案内 利用者への**乗車ポイント制度・利用証明での優遇 ③ 高校・地域住民と連携した駅活用 向原高校の探究活動とも連動し、駅の魅力発信やマップづくり、利用促進策を学生が提案・実行 地域住民による「駅を守る会」的な草の根活動と、制度的な支援を組み合わせる</p>
75	<p>スポーツ振興のための講演会開催を要望する。 ・JOCの方を招いた講演会を市に提案したが、予算がないと言って断られた。 ・本市はハンドボールチームがある。地域としてスポーツを支える体制を整えてほしい。</p>
76	<p>2. 図スポーツ振興課の設置提案「スポーツ振興課」を作り、地域振興の中核にスポーツを据えてほしい。</p>
77	<p>3. 支援の公平性に対する疑問 ハンドボールチームに広島市からも子どもが参加しているが、金銭的援助は安芸高田市の子どもだけに限定されている。「選手」として出場する以上、市外の子どものも平等に援助すべきではないか。金銭的な支援も本市としてしっかりしていくべき。</p>
78	<p>4. 継続的運営のための支援策 チームの存続には、市内でスポンサーを募ることも一つの方法と考えられている。</p>
79	<p>若者の居場所がなく、チャレンジ機会も不足。若者のアイデアは出てくるが、行政側の受け皿や予算が追いついていない。支援策が長期的で具体性に欠ける。 ①若者まちづくりチャレンジ補助金」等を創設し、少額でも機動的に支援、②高校・大学・若者団体との官民協働プロジェクト（イベント・空間・交通）、③若者による空間デザイン・拠点運営・アクション提案の制度化、を提案する。</p>

80	<p>本市には魅力的な素材がなく、生活のしにくさ、子育て環境の未整備、商業施設が不足している。</p> <p>移住定住策として</p> <p>①企業誘致による、経済基盤の整備が不可欠。 ②学校の魅力を活用して選ばれる地域になる。</p> <p>将来への不安として、</p> <p>①団塊世代の引退や人口減少後の地域の維持に懸念。 ②都市部に魅力的な仕事が増え、若者にとって本市で魅力的な仕事が少ないことが、地域への定住に結びつかない。</p>
81	<p>①本市の移住促進現状聴取 ②現状空き家データ内容 ③移住促進の為の空き家データ整備。移住検討者への訴追力のあるデータ構築 ④公的、私的支援策の整理 ⑤上記3項4項を網羅したポータルサイトHPの立ち上げ。 ⑥移住対象者に対する市のワンストップサービスHPの立ち上げ。</p> <p>HPは訴追力としてはプル型なので、プッシュ型のSNSを呼び水としてHPに誘導する。予算が許せば、HPに呼び込む検索キーワードを購入することで本市の移住促進HPへ誘導する。</p> <p>仕組みは、移住希望者が検索ワードを「移住」とタイプすると検索エンジンページの上位に当該HPがリストされヒット率を高める。 広報紙サイトへの「広報あきたかた」の登録して市のHPへ呼び込み空き家対策ポータルページへの誘導。</p>
82	<p>移住者に対するサービスについて</p> <p>1. 地域ルールの可視化が必要 各地域の「共通ルール」や「掟」のような内容をまとめたパンフレットを配布してほしい。知らずに暮らすのはつらい。</p> <p>2. 未転入者への説明 住民票を移していない人にも地域ルールの説明が必要。</p> <p>3. 生活情報の不足 「お太助ワゴン」の利用方法がわからない。若者向け施策だけでなく、高齢者向けの情報提供も必要。 インターネットは光回線がなく、驚いた。固定電話なしでホームルーターを利用中。</p> <p>4. 施設利用の不明瞭さ 八千代の「B&G施設」の意味が分からなかった（魚関連施設だと思った）。地元では常識でも、移住者には分からない。</p>
83	<p>1. ごみステーションから感じた地域コミュニティ ・自治会非加入者（特にアパート居住者）による無断使用も懸念されているなか、ごみを出すには自治会入会が必須とされ、移住者としてハードルを感じる。 ・以前区長をしていた時、ごみステーションの管理だけでもジェネレーションギャップを感じた。</p> <p>2. 地域活動 ごみ出し、草刈りなどの活動に参加・不参加で人間関係がぎくしゃくすることがある。 ・参加者（移住者）は「UターンよりIターンの方が地域に入りやすい」と語る。Iターンの場合地元に戻るとライフスタイルや常識の違いがなかなか受け入れられないのでは？Uターンの場合、お互いを受け入れる姿勢が柔軟に対応できる、という認識をお持ちだった。</p>

84	個人情報保護法が強くなる中で、コミュニティを作ろうと思ってもなかなか難しい。行政の動きが矛盾している。行政が悪い。行政が固いことを言わずに、もう少しおおらかにやっていける状況を作らないといけない。
85	そもそもの体制や制度を改革していく必要がある。
86	個人情報自体は守られるべきものではあると思うが、緊急事態には特例的な流れや動きも必要では。有事の際に避難をすることや、救助しづらいという声もきく。
87	コミュニケーションのとりやすい地域になればいい。
88	年寄りも若い人も、キッカケを作ることが大切なのは。
89	地域振興会の活動が減ってきている。担い手不足の問題を解消する必要がある。

市民部関係

1	<p>子どもたちは安芸高田市に帰らないといっている。そこで孫のため、庭を整備したり、遊具をつくったりし、孫に楽しい、ここに帰りたいと親に言ってもらえるように頑張っている。しかし、54号ぞいの山の中にゴミが捨てられている。回収している。処分も大変。市に相談して、不法投棄の看板をいただいたりしているが、建てても捨てるのが収まらない。捨てる人は捨てる。市としても、罰金など条例等の整備ができないか。市も議会も地域も、自分たちがこの町を大切にしているんだという姿をみせる必要がある。空き家も地域で守っているが、山のゴミはどうにもできないので市にどうにかするように議員も提案してほしい。</p>
2	<p>三次市、安芸高田市、北広島町の合同ごみ焼却施設について、立地、ごみ収集の方法や分別方法などどうなるのか。特に立地については、地域住民の理解を得る必要がある。不安な解消のためしっかり説明してほしい。</p>
3	<p>きれいセンターによく行く。家の掃除をしていると瓦・陶器が出てくる。きれいセンターは回収してくれる。レンガ・ブロック・土砂は取ってくれるのか。水害にあたりして土砂が出てくる。レンガ・ブロック・土砂を引き取ってくれなければ放棄するのではないかと心配。これらを引き取ってもらえないか。放置されている空き家を整理している中で出てくる。水害が出た土砂の取り扱いはどうなのかも気になる（災害時から経年している）。どこに持っていったらよいか不明なものもある。枝木も自宅で燃やすことができない。きれいセンターに持っていくとお金がかかるなど負担。</p>
4	<p>甲田町は充実しているごみ収集 各自治体に展開していけないか 北広島町役場も充実しており、瓶などの収集もしている ペットボトルなども収集して便利だと感じる 他の町の人が出してもいい 甲田モデルを展開してもらえると便利 リサイクルも広がると思う</p>
5	<p>ソーラーパネルの設置が行われているが、環境面や耐震性、耐久性などに不安が生じる。</p>
6	<p>外資によって、産業廃棄物の処理工場ができている（ナフコの近く）。騒音や水質に不安が生じている。行政で対応できないか、要望する。</p>
7	<p>空き家の数が多い。不動産業をしているが、それに対応する時間とコストが合わない。（1筆2筆の話じゃない、大変な手間がかかる）登記が取れていない土地が問題。特に未登記の土地は、税法上登録されていないため、いざ謄本を取ってみてもわからない。土地の一部に未登記の土地や相続を受けていない土地があるせいで売買ができないケースもある。借家が多い印象。まちの中でも歯抜けのような形で土地が空いてる様子を見る。固定資産税は建物があると安くなることで、空き家のまま投げた方が安くなる問題もあり、古い建物が放置されていると景観も悪い。更地にすると草刈り問題もあり、難しい。</p>

1. ごみステーションから感じた地域コミュニティ

- ・自治会非加入者（特にアパート居住者）による無断使用も懸念されているなか、ごみを出すには自治会入会が必須とされ、移住者としてハードルを感じる。
- ・以前区長をしていた時、ごみステーションの管理だけでもジェネレーションギャップを感じた。

8

2. 地域活動

ごみ出し、草刈りなどの活動に参加・不参加で人間関係がぎくしゃくすることがある。

- ・参加者（移住者）は「UターンよりIターンの方が地域に入りやすい」と語る。Iターンの場合地元に戻るとライフスタイルや常識の違いがなかなか受け入れられないのでは？Uターンの場合、お互いを受け入れる姿勢が柔軟に対応できる、という認識をお持ちだった。

福祉保健部関係

1	<p>児童クラブについて児童館、児童クラブが8時に始まる、仕事が間に合わないから児童館に7時50分に子供を置いて出勤する現状もある。仕事に間に合うように児童クラブを始めてほしい。行政からも指定管理者に働きかけてほしい。</p>
2	<p>日頃から気になっていることがある。安芸高田市は財政が厳しい、これからの市政を考えたとき、重点政策のみになってくるのではないか。大切なのは教育と福祉、医療になるのではないか。高齢者となりその部分を体験している。教育は国が支援や給食の無償かなど進んできている。福祉はかなり大変で福祉にかかわる人が減ってきているのが課題。施設はあるが、待機の人も多いので、その施設がうまく連携できているか不安である。医療の点は吉田病院施設が老朽化している。病院が合理的でない。空いているベッドがあり、同じ階にお風呂があったりしてコストも大きくかかっている現状があるとおもう、中核医療をになう医療体制の充実をはかって住みやすい街にしてほしい。合わせて子供が産めない市は発展がない。やはり産科がない町ではいけない。総合病院として、産める状況・産科に必要な時にかかれる体制がとれるように要望する。</p>
3	<p>(集落支援員の視点での意見として) 空き家活用や特産品の活用等で、人口増を促すことはできないか。 孤独死があった現実の中で、高齢者の暮らしを守る手段が多様化している。とりわけ、生活交通の新たな仕組みづくりを要望する。</p>
4	<p>高齢者の一人暮らしを見守る中で、家族関係を強化し、絆づくりが必要と思う。 防犯や見守るためのカメラ設置も必要と思う。 自治振興会組織との繋がりを強化するための取り組みが必要と思う。</p>
5	<p>民生委員の活動はプライバシーや個人情報との関係等で活動がしづらい。その為にも普段からコミュニケーションづくりが必要ではないか。その工夫が必要ではないか。消防団員の成り手も少ない。その対策はあるか。経済圏や通勤圏等の分析も行ってほしい。</p>
6	<p>吉田総合病院について、準市民病院として充実してほしい。</p>

産業部関係

1	空き家に関しては、増加している。向原町に限らず増えている。少子化である仕事がない大都会に中心になっている、仕事場がないのが一つの原因である、少子化もすぐに解決できない。駅周辺の活性化について今は、駅周辺はさびれてきている、活性化に成功した駅もある、しかし、向原駅の立地条件は悪く、駅中心のまちづくりをしてほしい。芸備線も大事である。トンネルもできて吉田からの流れを作り活性化に繋がるようにしてほしい。
2	駅は玄関口といわれている 駅が活性化してないと、1階もまっくらになっている。駅が明るくないと人も集まらないし、駅は顔なのに生きていない。フリースペースなどを作り、いろんな人が使えるようにすれば、外国人の人も使ってもらえる。歴史を利用した発信なども活用し、駅を使用したいと向原駅を目指して芸備線を利用するようにすればいいのではないかな。
3	空き家と駅周辺の活性化については安芸高田市に来たらこれがある、観光ができる、商品があるという安芸高田市の目玉をつくるような政策を希望する
4	とても暑い日が続き水不足も心配になってきた。数年前から、つつみ、ため池、を廃止している。大雨の時は崩壊対策としていいかもしれないが、頑丈なつつみは山火事とかで水を使用できるのではないかな。つつみがなくなったことで、田んぼに水が無いこともある。つつみため池について復活することができるのか調査してほしい。
5	安芸高田市にある団体は、地域事業団、社会福祉協議会、商工会、シルバー人材センターなど様々な団体がある。例えば、シルバー人材とかは拠点を丹比の農協の施設を借りている。支所にしても大きな建物で空いているところが多数あるため、そこに各団体に入ってもらいことにより地域の活性化につながるのではないかな。補助金を出している団体も多いので、賃料も安くできるのではないかなと思うので、支所に各団体を入れてもらいたい。吉田が中心であるというのは理解できるが、同様にフォルテも空いているところがあるので各団体、企業誘致等積極的に活用してほしい。
6	安芸高田市では22団体の神楽団があり、八千代町には1つの神楽団がある。広島は団員もいる。現在は神楽門前湯治村で定期公演をしているが、安芸高田市は神楽の町として盛り上げていこうと思えば、やはり各町（神楽団がない甲田町、向原町でも）定期的に文化ホールで公演することも必要ではないかな。そうすることで、子どもたちもお祭りだけでなく、さらに神楽に触れる機会増え興味をもち神楽を引き継ぐ子どもたちを育成することができると思う。神楽公演にあわせて、地域の行事を組み入れることもできる。市としても、地域の活性化に向け伝統の神楽を活用することを考えてほしい。
7	農業は水不足で大変な時を迎えている、災害級の水不足、高温になったときは、市としてどのように対応してくれているのか、地域的に水は井戸や山水で対応しているので水が出なくなったらどうするのか心配。生活水に困ったら上水道がここにありますので、来てほしいというアナウンスが必要ではないかな。生活支援を丁寧に考えてほしい。困ってからでは遅い、犠牲者を出さない市政運営を強く望む。緊急課題のため対応してほしい。

8	<p>安芸高田市は神楽が有名になってきている、現在ブームが起きており、神楽を親世代、子供世代もやっている。活動が活発になり、小学校、中学校、神楽甲子園、大人の神楽へとつながってきている。文化を継承していき、ブームを続けてほしい。神楽の関係者は多いので、関係者の意見を大切に、文化継承と一緒に、神楽のプロ化についても検討することで、神楽で生きていく（食べていける）という産業としての神楽の将来を考えてほしい。</p>
9	<p>八千代町の下水道について 佐々井まで下水道が来ているが、下水の充実を図ってほしい 下根・上根などは通っていない コインランドリーなどの施設をつくれぬ 田んぼの水が来ない水の供給（農業用）なども充実してほしい要望 水中ポンプなどで対応したときもあるが、自己負担だったことも不満 各地域での水供給は課題</p>
10	<p>農耕地の問題 草刈りなどは自分のところでやっているが 街に出ている子世帯には頼めない 草刈りをする人が減っていく 農耕地を管理していくいい方法を考えていかないとできなくなる 市道脇も草だらけになるため通れなくなる 農耕地の管理対策 地域的な範囲で考えていく必要がある森林環境贈与税などの使い方 草刈りなどの管理に使用できればいいと思う 酷暑も影響して農作物の管理も問題</p>
11	<p>熊の出没 同一の個体なのか別なのか 調査する必要があるのではないか 補助金などを使用して調査する必要がある 猿も熊も対策を講じる必要がある 何かあってからでは遅い 熊に対する批判も多いので慎重に対応しないとイケない 首長の判断といっても難しい 大土山で拾ったものがアライグマだった 共生・共存を考えていかないとイケない 鹿も共存している地域もある</p>
12	<p>向原駅の利活用について議会はどのように考えているのか。駅ビルの利活用で暮らしとJRを繋ぐ必要がある。当初コロナ禍でスタートしたコワーキングスペースなど企業誘致があったようだが、市の取組がよく分からない、見えない。地域にもっと情報を出してほしい。人が集まるような魅力あるスポット（例えばジャンソーなど）を作るなどして楽しい賑わいの場を作してほしい。</p>
13	<p>車の免許返納が進んでいるが、進めるための対応策の一つとして、無人バス等の運行といった施策を進めてほしい。地域の暮らしも含め（農業など）、政策を考えてほしい。地域の政策を総合的に、複合化して国の補助金等を活用できないか。</p>

14	シカ等の鳥獣害対策が急務。何回も荒らされる。 メッシュで対応しているが、さらに効果的な対策を要望。
15	山林の上流域に海外資本が入り、買収されている現状が各地にある。 水源確保のためにも、注視してほしい。
16	(神楽門前湯治村) 少し、入浴施設が汚いように思う。老朽化もあり、清潔でないという印象。改修を希望。サウナについて。もう少し一般的なものにできないか。ミストサウナは不評のように感じる。
17	(神楽門前湯治村) もう少し、夜遅くまで入浴できるようにはかっただけでないか。20時半以降も。
18	湯治村の利用者数の統計など取っているのか。
19	湯の森の飲食メニューに関する意見あり。
20	(神楽門前湯治村・たかみや湯の森・道の駅三矢の里あきたかた) 新しく、交付金や補助金などを活用できないか。方法を考えるべき。
21	三矢の里について。駐車場の出入り口が2つあったが、現在は1つから出入りをするようになってきた。なぜそうなったのか、また2つの出入り口から出入りできるようにはできないのか、疑問。
22	安芸高田市が、市としてももう少し農業に取り組んでいただけないか。新規に農機具を買うこともそうだし、30年以上経った水路や圃場整備等。狭い道を農機具で通らないといけない。市議にも過去、相談したが、例えば県の管理だからだめとか、災害時じゃない限り広げることではできないという回答だった。農業の負担が減ることによって、若い世代が農業をやろうと考えるきっかけにも繋がるのでは。
23	河川や頭首工が壊れていても、民間の方から申請をしないと災害復旧として認められないのはおかしいのではないかと。申告制というところが問題
24	治水、保水に関連して、田んぼダムを作る動きがあるが、それよりも地下タンクなどを作るべきでは
25	(農村交流館やすらぎについて) 2027年3月にやすらぎの譲渡開始。向原ではAコープも小さくなり、味噌や調味料など普通の生活用品を買いにこられる利用者の方もいる。一方で、街の方から玄関口として来られる方もいらっしゃる。イベントなども盛り上がっている。
26	(農村交流館やすらぎについて) どうか地域ぐるみでの維持、管理を目指していくよう、考えていただけないか。
27	(農村交流館やすらぎについて) 受益者が限られる施設は譲渡開始という当初の話から、今は商業観光施設のような形に、いわゆる良い方向に移り変わってきている。
28	(農村交流館やすらぎについて) なるべく自走できる形に努力を重ねている状況。アート祭りも、出店料をいただいてその中で運営している状況。
29	島根の自治体で、鹿を狩猟して動物園に餌として販売しているそう。皮付き骨付きで。そうすれば弾代も出るし、一つの産業となる可能性もある。
30	(有害鳥獣対策について) 収益化や事業化について、実例や先進事例を勉強する必要があるのでは。お金を使う方で頭を使うより、お金を生むことに頭を使って欲しい

31	猟友会の高齢化、サラリーマン化。兼業者の割合が多いのも課題と感じる。
32	牧場にもものすごい鹿がいる。サファリパーク状態。大きな罠などを仕掛けてみればどうか。一度行ってみたい。
33	五龍城や、郡山城が観光資源としてある。ただ、実際に登った方からは「景観が悪い」といったネガティブな意見も見られる。ハイキングコースなど、もう少し観光資源として整備してはどうか。
34	主要幹線を繋いで、産業、観光振興にもっと努めるべき。
35	(市の観光資源について) 現状のままでは勿体無いと感じる。
36	(市の観光資源について) 県や国からお金を持って来れないのがよくないのでは。せっかく大河などで取り上げられてもすぐ衰退していく。
37	(市の観光資源について) 埋まっている資源はあると思う。市外からお金を持ってくる取り組みを。
38	有害鳥獣対策。熊について。広島県は現状、熊を撃てない。なんとか変える必要があるのでは。
39	熊が出た際に2時間くらい外出できない事態もあった。
40	生田川の組合員でありながら、川に降りようと思っても、鳥獣害対策用の防護策が邪魔になる。いい場所になってない。
41	「この柵がなかったら、高宮は綺麗なのに…」という声もある。景観が悪くなってしまっている。
42	たかみや湯の森について。湯治村と合併により、先方の赤字負担を湯の森が背負っているような問題もあり、独立法人化するべきでは、という声も地域から上がっている。
43	昔は犬を放し飼いしていた。今は外飼いは減った。首輪もつけている。昔みたいに放し飼いを推奨して鳥獣害対策に役立てては。
44	うちの周りでも猟犬が2匹亡くなったが、その後周りに有害鳥獣が出だした。
45	動物愛護法が全て正解とは限らない。弊害も出てきている。
46	八千代支所にヌートリアの捕獲檻が1機しかないため、増やしてほしい。
47	本市には魅力的な素材がなく、生活のしにくさ、子育て環境の未整備、商業施設が不足している。 移住定住策として ①企業誘致による、経済基盤の整備が不可欠。 ②学校の魅力を活用して選ばれる地域になる。 将来への不安として、 ①団塊世代の引退や人口減少後の地域の維持に懸念。 ②都市部に魅力的な仕事が増え、若者にとって本市で魅力的な仕事が少ないことが、地域への定住に結びつかない。

48	<p>向原駅1階が汚く、整理整頓されていない。駅は向原の玄関口であるにもかかわらず、初期のような活気がない。 ドアが閉まっており中の様子が分からないため、近寄りがたい。「私も協力したい。今は草取りをしているが、何をしたらよいか分からない」との声もある。 向原は吉田町に比べて支援が届きにくい。地域資源の偏在と外郭団体の集中に課題がある。 ①地域ごとに「自主的な拠点再生モデル」を検討。②少額でも活用できる地域交付金・予算枠の創設（駅活用、草刈り、地域活動支援）③各町で市と連携して事業提案・実践できる制度の仕組み化、を提案する。</p>
49	<p>企業誘致をしてほしい大企業誘致をしてほしい。何か産業を増やしてほしい。人口増を考えてほしい。</p>

建設部関係

1	地域そして駅の活性化のためには、駅のバリアフリー化を考えてほしい。そのためには、安芸高田市の活性化を総合的に考える必要がある。今後どのような市にするのか市民に説明があるのではないか。
2	八千代町の下水道について 佐々井まで下水道が来ているが、下水の充実を図ってほしい 下根・上根などは通っていない コインランドリーなどの施設をつくれぬ 田んぼの水が来ない水の供給（農業用）なども充実してほしい要望 水中ポンプなどで対応したときもあるが、自己負担だったことも不満 各地域での水供給は課題
3	空き家が増えている 活性化までいかないが幹線に近いところはなんとかできそうだけど後継者がなんとかしていくしかない 問題として大きくなるのではないか
4	駅の近くでも危ない状況の空き家がある。都会は人が減っているが活気を感じる。仕事がひと段落した人たち。文化活動・製作活動などをいろんな人ができれば。美術・動画にして発信している。工業は難しいが文化は魅力がある。広島からも駅もあるので人が来る。大土山の文化もある。まちづくりとして文化を
5	空き家のマッチングはタイミング。山や畑・田んぼが付いた土地建物は負担に感じる。家のサイズが大きすぎる。ほしい人のニーズに合わないケースがある。駅周辺の活性化はどういう状況か。つくっていくことが難しい。長田のほうは農業を志して空き家を購入する人がいる。そういう人へスポットを当てるなど方法ができそう。ケーキを作る人が空き家を買うこともある。売る側は全部引き取ってもらいたい。家財の処分なども双方の思いが合致しない。ミスマッチ。孫は広島市に出ていて壊そうにも壊せない事情もある。家のことは所有者が考える必要があるが難しい。壊すための資金も課題。
6	工事がなかなか進まない道路がある、なんとかならないか。
7	インフラ整備、水道、下水、さまざまな問題があり、これも農家の命。
8	空き家の数が多い。不動産業をしているが、それに対応する時間とコストが合わない。（1筆2筆の話じゃない、大変な手間がかかる）登記が取れていない土地が問題。特に未登記の土地は、税法上登録されていないため、いざ謄本を取ってみてもわからない。土地の一部に未登記の土地や相続を受けていない土地があるせいで売買ができないケースもある。借家が多い印象。まちの中でも歯抜けのような形で土地が空いてる様子を見る。固定資産税は建物があると安くなることで、空き家のまま投げておいた方が安くなる問題もあり、古い建物が放置されていると景観も悪い。更地にすると草刈り問題もあり、難しい。
9	不在地主の件を、なんとかしてほしい。現状は、地域が自らのお金を出して対応している状況。市の方からきっちりと通知を出していただく必要がある。出来ないのであれば、他の方法を模索して欲しい。
10	2件依頼して、1件はまだ片付いてない。担当課の中で情報共有がされてない。
11	空き家がここから増えていく一方。

12	特例として、事前に伐採等も出来ないものか。
13	後に残る若い世代の人間のために、なんとかできないか。
14	市道の側溝にゴミが溜まっている。県道にもあり、その際は県に直接通報している。見回りパトロールについても、道路のことは見ている側溝まで気を配れていないように思う。現状のままでは、税金が使われているのが勿体無いとすら思う。
15	側溝は昔は地域で綺麗にしていたが、耕作放棄地になると必然的にほったらかしになってしまう。そしていざ水害等があると溢れてきてしまうという問題がある。なんとかしてほしい。
16	草刈り。できる限り、綺麗に刈ってもらいたい。今年はどうしたんだろう、去年よりも残念だったというような声もある。
17	<p>③ 空き家・空き施設の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクは機能しているが、予備軍を含めると実態は追いついていない。 ・空き家をきれいに維持するには手間・コストがかかる。 <p>● 提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き施設・空き家の民間貸出制度の整備と公開化 ・空き施設には用途限定付きで賃貸または売却（例：起業・宿泊・アトリエなど） ・高校生や移住者と連携した空き家活用プロジェクトの立ち上げ
18	上甲立地区の市道では草がすぐ伸びるため、自転車通行に支障が出ている。市は市道の草刈りを全て発注しておらず、幹線道路のみが対象と思われる？
19	業者の作業品質への不満 数日前に来た業者の草刈りが雑だった。市道と県道では業者が異なるのか？
20	3. 通学路の安全確保の要望 毎年全てとは言わないが、特に通学路は優先的に草刈りしてほしい。ツルが伸びており危険。
21	4. 議員の発言に対する進捗確認 選挙時に訪れた議員に市道の草刈りについて聞いたら「やります」と言っていたが、その後どうなったか不明。選挙の時だけか？
22	5. 地元住民による草刈りの限界と補足作業について 市から委託された草刈り業務はあくまで草を刈るのみで、用水路から上げた土の撤去などは行わないので作業委託するときに撤去等も考えてほしい。現在は住民の気配りで何とか維持できている状態。

23	<p>本市の移住促進</p> <p>①本市の移住促進現状聴取</p> <p>②現状空き家データ内容</p> <p>③移住促進の為の空き家データ整備。移住検討者への訴追力のあるデータ構築</p> <p>④公的、私的支援策の整理</p> <p>⑤上記3項4項を網羅したポータルサイトHPの立ち上げ。</p> <p>⑥移住対象者に対する市のワンストップサービスHPの立ち上げ。</p> <p>HPは訴追力としてはプル型なので、プッシュ型のSNSを呼び水としてHPに誘導する。予算が許せば、HPに呼び込む検索キーワードを購入することで本市の移住促進HPへ誘導する。</p> <p>仕組みは、移住希望者が検索ワードを「移住」とタイプすると検索エンジンページの上位に当該HPがリストされヒット率を高める。</p> <p>広報紙サイトへの「広報あきたかた」の登録して市のHPへ呼び込み空き家対策ポータルページへの誘導。</p>
24	<p>移住者に対するサービスについて</p> <p>1. 地域ルールの可視化が必要</p> <p>各地域の「共通ルール」や「掟」のような内容をまとめたパンフレットを配布してほしい。知らずに暮らすのはつらい。</p> <p>2. 未転入者への説明</p> <p>住民票を移していない人にも地域ルールの説明が必要。</p> <p>3. 生活情報の不足</p> <p>「お太助ワゴン」の利用方法がわからない。若者向け施策だけでなく、高齢者向けの情報提供も必要。</p> <p>インターネットは光回線がなく、驚いた。固定電話なしでホームルーターを利用中。</p> <p>4. 施設利用の不明瞭さ</p> <p>八千代の「B&G施設」の意味が分からなかった（魚関連施設だと思った）。地元では常識でも、移住者には分からない。</p>
25	<p>駅周辺も空き家が多い。</p> <p>土地と家屋の登記が違うことは課題。</p> <p>向原町は水道事業整備が行われて約40年経過していることも今後の課題はある。</p> <p>安芸高田市内の位置づけ、利便性など売りとなる部分をもっと協調して空き家の利活用を進めるべきではないか。</p>
1	

教育委員会関係

1	安芸高田市の実情がわからない。たとえば、学校でも登校できない児童生徒のために、フリースクール等の受け皿ができていますが、受け皿ではなく、学校で対応できるのではないかと考えてしまう。今はまったく見えない。そういった状況をしっかり知るために、市も議会も現場を見て、何が問題かということをしっかり見せてほしい。市の現状をしりたい。
2	教育についても魅力ある教育をしないと若者が市外へでていく
3	地域のコミュニティ拠点であるはずのフォルテが、空調や階段の破損により十分に活用されていない、修理には多額の費用がかかるといわれ、吉田のクリスタルアージョーを使用してほしいと案内する。八千代の地域コミュニティの基幹施設フォルテが使える環境にない。具体的には空調が壊れている、椅子を出す機械も壊れている。せっかく地域で賑わいの場を作ろうとしても行政がフォルテは使いたがらない現状がある。フォルテの多目的ホールは市民にとって使い勝手がよく、フォルテには、市役所のほか、美容院、デイサービス、歯医者など家賃収入もある。空いている場所にも企業誘致をしているという話だか全然進展がない。収入がある文化施設なのにその収入は改修費に回せないのか。地域コミュニティの中心施設としてフォルテの改修、整備をしてほしいが行政は今後どのような計画があるのか、また将来のフォルテをどのように考えているのか回答してほしい。
4	上根向山地域振興会は4つの中で一番活動しており、会長を中心として積極的に活動している。旧道のにぎわい創出のため、潜龍峡ふれあいの里のレストハウスで毎週日曜日に食堂を開いていたが、2023年12月に施設の老朽化で閉めることになった。旧道の賑わいづくりでもあったし、活動している上根向山地域振興会でもコミュニティの場としてレストハウスで活動していた。現在は、上根の集会所を保健所の許可を取ってお弁当を作成したりしているが、みんなが集まれるコミュニティの場がなくなった。施設がない、駐車場がない、振興会はお祭りなどでの参加はあるが、以前と同様な活動ができるような場所を考えてほしい。前の話と同様になるが、フォルテを活用することができればいいと思う。
5	安芸高田市にある団体は、地域事業団、社会福祉協議会、商工会、シルバー人材センターなど様々な団体がある。例えば、シルバー人材とかは拠点を丹比の農協の施設を借りている。支所にしても大きな建物で空いているところが多数あるため、そこに各団体に入ってもらいことにより地域の活性化につながるのではないかと。補助金を出している団体も多いので、賃料も安くできるのではないかと。支所に各団体を入れてもらいたい。吉田が中心であるというのは理解できるが、同様にフォルテも空いているところがあるので各団体、企業誘致等積極的に活用してほしい。
6	日頃から気になっていることがある。安芸高田市は財政が厳しい、これからの市政を考えたとき、重点政策のみになってくるのではないかと。大切なのは教育と福祉、医療になるのではないかと。高齢者となりその部分を体験している。教育は国が支援や給食の無償かなど進んできています。福祉はかなり大変で福祉にかかわる人が減ってきているのが課題。施設はあるが、待機の人も多いので、その施設がうまく連携できているか不安である。医療の点は吉田病院施設が老朽化している。病院が合理的でない。空いているベッドがあり、同じ階にお風呂があったりしてコストも大きくかかっている現状があると。中核医療をになう医療体制の充実をはかって住みやすい街にしてほしい。合わせて子供が産めない市は発展がない。やはり産科がない町ではいけない。総合病院として、産める状況・産科に必要な時にかかれる体制がとれるように要望する。

7	<p>子どもに「寝泳ぎ」を教えてほしい。自分が考案した泳法。「寝泳ぎ」とは手を上にあげないで泳ぐ泳法。 指導としては背中に手で支持してあげることのできる。水の流れるを感じることができ自然に泳ぐことができる。顔を上に向けて。手足を早く動かす。はじめはできないがだんだん出来てくる。長い距離を泳ぐこともできる。発展として立ち泳ぎなどができる。水害時、命を守ることができるようになると考える。</p>
8	<p>プール内での眼鏡の使用ができない。ルールとして。眼鏡がないと目が見えない。以前にも要望したができないということだった。広島県のプールは眼鏡がだめなルールはない。吉田温水プール。八千代B&G。高宮B&G（美土里町プールは着用可）なぜ眼鏡着用がダメか理由は不明</p>
9	<p>パレットの空調が故障しているが、そのままになっている。改修してほしいが、館を縮小するなど維持・改修の必要性。</p>
10	<p>総合計画の完成ののち教育振興計画も策定されるはず。早期に出してもらわないと策定が遅くなる。中学校から市外に出る学生が多くなる。教育の地域格差が増える可能性を心配している</p>
11	<p>四季の里状況はまだわからないが。立体看板が残っている。八千代の丘美術館は廃止と聞いているが現状はもったいないと感じる。名称もいろいろ言っているが</p>
12	<p>美術・音楽など芸術に関すること。学校のことでいうと美術館に行けではなく、美術品を持ち込むことができないか。音楽も連れてくることができないか。「本物に触れさせる」ことの大切さ。人ごとにならずに。統合したときなど学びについて貴重な機会をつくってあげないと心配。あらゆる芸術は目の前に持ってくる。子どもたちに直接見せる</p>
13	<p>小学校がひとつになった、小学校のプールも使われなくなった B&Gを使用、小学校もバスで移動している。児童館の前にもプールがあったが使わなくなった 合併したときに修繕したのに、もったいない 水代がもったいないという理由と聞いた、B&Gが安心だけど、帰る時間に忙しそうにしている 今年から、プールが使わなくなった 保育園児も使用していたが今年はビニールプールになった 使わなくなったプールがあるのももったいない（水道代が高い） 子どもたちが大変そう</p>
14	<p>中学校新設の用地等についての発言は、慎重に行なってほしい。 将来的に小中一貫校を検討していくべきではないか。</p>
15	<p>不登校児童生徒数は35万人とも言われる昨今、学校が楽しい場所になっていない。 36年前に国連で採択された「子どもの権利条約」、31年前に日本も批准。 2022年に日本で「こども基本法」が成立されたことを受け、条約の理念を国内法に落とし込む上で 大きな前進。その上で、全ての子供が意見を言える安芸高田市を望む。 子どもの声を聞くアドボカシーの取組（既に本市2～3校取組実施済）や「子どもの権利条例」の制定を安芸高田市で進めてほしい。</p>

16	学校と人を繋げる基地のような地域振興の核になる女性を集めて、そのパワーやエネルギーを活かして情報発信や地域活性化など女性のコミュニケーション能力を活かしたまちづくりの取組を行ってほしい。コミュニティスクールの取組も学校が説明をするだけで、地域の協力を求めにくいのが現状。
17	教育は教えるものではなく、感じ取るものであろうと思っている。ニーズに作られていくような教育をすることについて、問題視している。
18	自分たちの生活ひとつひとつが憲法に守られているという事実があると思う。こういった内容についての教育を進めていくのも、大切なことなのでは。一方で、子どもに押し付けるような教育はいけないとも思う。
19	焦らずに進めてほしい。急にすると財政が逼迫するのでは。今の既存の校舎を使って、いったん2校（吉田・高宮）で進め、人数が完全に減ってから吉田に既存の1校案も良いのでは。
20	先週、アージュでドラえもんを鑑賞した方がいたが、飲み物が禁止となっていた。少しルールが固いのでは。
21	（先週、アージュでドラえもんを鑑賞した方がいたが、飲み物が禁止となっていた）一方で、ルールを緩めすぎるのも問題。
22	（先週、アージュでドラえもんを鑑賞した方がいたが、飲み物が禁止となっていた）現状では、ルールを守っている側が損をしているような印象も受ける。定めているのであれば全員が守れるようにするべきだし、形骸化しているのであればルールの改正を検討するべきでは。
23	五龍城や、郡山城が観光資源としてある。ただ、実際に登った方からは「景観が悪い」といったネガティブな意見も見られる。ハイキングコースなど、もう少し観光資源として整備してはどうか。
24	中学校統合自体は致し方ないと思う。
25	吉田地域に作ることにについてはいかがか。浸水等の問題はどうか。学校自体を高台に建てないといけないのでは。防災拠点になるようなところを検討しては。
26	合わせて、吉田病院などの水害被害が予想される施設なども合わせた複合施設のようなものも想定できないか。
27	吉田地区に集約するのも通学時間上はわかるが、場所としては甲田中学校のような土地がやっぱり理想なのではないか。
28	吉田小学校を併設する構想が第一になると、吉田小学校区に建てるのがほぼ決定する。水害対策が疎かにならないか。
29	河川改修がどの程度できるのかによる。
30	避難場所の考え直しも必要では。甲田町の避難場所はミュージダだが、橋を2つ渡ってくる地域もある。

31	八千代小学校の子どもたちが遊ぶ場所がないという話を聞く。公園はあるが、山の方だったり、遊具が少なかったり、遠かったり。バスロータリーの周辺で子どもたちが集まって遊んでいる。自分たちは小学校で遊んでいた。今は使えないのか。土師の子どもたちも土師ダムまで行かない。
32	今は学校で遊ぶのを禁止されている。保護者からの通報があったりした流れがあったのではないか。
33	子どもたちの見守り隊をやったらどうか。
34	保護者の問題もあるし、学校側の問題もある。ある程度、トップが方針を示すことが必要。なんでもそう。
35	耕作放棄地の公園化などはできないのか。集会所の利活用など。
36	本市には魅力的な素材がなく、生活のしにくさ、子育て環境の未整備、商業施設が不足している。 移住定住策として ①企業誘致による、経済基盤の整備が不可欠。 ②学校の魅力を活用して選ばれる地域になる。 将来への不安として、 ①団塊世代の引退や人口減少後の地域の維持に懸念。 ②都市部に魅力的な仕事が増え、若者にとって本市で魅力的な仕事が少ないことが、地域への定住に結びつかない。
37	スポーツ振興のための講演会開催を要望する。 ・JOCの方を招いた講演会を市に提案したが、予算がないと言って断られた。 ・本市はハンドボールチームがある。地域としてスポーツを支える体制を整えてほしい。
38	2. 図スポーツ振興課の設置提「スポーツ振興課」を作り、地域振興の中核にスポーツを据えてほしい。
39	3. 支援の公平性に対する疑問 ハンドボールチームに広島市からも子どもが参加しているが、金銭的援助は安芸高田市の子どもにのみ限定されている。「選手」として出場する以上、市外の子どもも平等に援助すべきではないか。金銭的な支援も本市としてしっかりしていくべき。
40	4. 継続的運営のための支援策 チームの存続には、市内でスポンサーを募ることも一つの方法と考えられている。

行政委員会関係

1	母が介護状態 選挙できる状態ではあるが要介護になると有効とはいえない 介護認定を出すのも市なので市のほうで工夫して投票率を向上する取り組みをしてみても投票年齢も下げるなど社会に合った選挙にしていくほうがいいのではないかと特養などに移動投票所はできないのか 認知症の人などへの投票については問題があると感じる 若い人の投票率を上げる必要があるのでは
2	監査結果で「問題なし」となったが、本当に問題はなかったのか。当時の監査委員にも疑問。

市全体に対しての意見

1	各振興会がもっている公園、田んぼの公広場、ほ場整備の時の条件で作られた公園、さくら公園など、子供の遊具が古くなってあぶない。修繕や撤去工事は振興会が負担しないといけない。地域所有の公園の管理をどうするのか、振興会にまかせたままで大丈夫か。事故があってからでは遅いので、安芸高田市の現状を調べて対応策が必要ではないか。
2	安芸高田市は結局少子高齢化の課題があるが、枝をたどっていけば、地域の全体的な原因は地域産業の衰退だと思う。長崎には軍艦島や島根の石見銀山もあるが、小さい地域でも産業が発達している。美土里町にも 智教寺には金山の跡地がある、その小さな地域に学校まであった。地域産業がないから人口が減少しているの、100年前の昭和元年、安芸高田市の地域産業は農業だった。どのように企業を誘致していくのか。産業をどのように起こして人口減少を考えているのか知りたい。
3	地域づくりは歴史や地域の特徴が背景にあるのでそれを大切にして、地域づくりをしていかないといけない。金太郎飴のような対策をするのではなく、地域にあった対策をしていくまちづくりが必要になる。後継者がなかなか見つからないという状況は今後も続いていくと思うが、各地域の特色をいかして取り組みをしていく必要を感じる。まちづくりは行政との連携が必須なので、しっかり連携をとることが必要ではないか。支援のありかたを各地域にあったものにしていくように要望していく。
4	町時代は、職員さんも地域の活動をしていた。上佐一心会は地域のつながりをもう一度取り戻すために目的は盆踊りの復活を目的に立ち上げた。その時は100人と人数も多かった人数が少なくなってきたのでその人数に合わせた活動、対策が必要ではないか。子育て世代は地域の大きな力、若い力を地域に取り込むような環境をつくるのが大切、関わりを増やす必要もある。過去と同じ活動をしていくのではなく、人数が少ない地域もあるし、地域の結束力を高めるような新しい振興会の活動が必要ではないか
5	高齢化が進む中で、高宮は特に高齢化が進んでいる。10年後を考えたときに、集落が大きく変わっている、行政もそして市民も、議論だけでなく、10年先のことを想定しているのかまったく見えない。道路の維持にしてもここ最近、木や草が出てきて通行に支障がでてきている道路がある、インフラの維持もできないのではないかと不安である。国の支援をまつのではなく、高宮地域は特に早く行動する必要がある。本当に将来の計画について行政も市民も本気で考え、具体的な取り組みをしないと間に合わない。早急に取り組むよう強く要望する。
6	行政区長や振興会の役員、地域活動の担い手が見つからず、既存の役員の負担が増大しています。特に高齢化が進む地域では、この問題は深刻である。地域のつながりもなくなり、家族葬の増加やイベントの中止など、住民が集まる機会が減少し、隣近所との関係が希薄になっています。これにより、困っている人がいても気づきにくくなるなど、支え合いの機能が低下する恐れがある。行政区からも脱退する人がおり、行政区の活動に参加しない人が増えることで、ゴミステーションの管理や道路の清掃など、これまで行政区が担ってきた地域課題の解決が困難。今後コミュニティが崩壊していくと思うと心配である。この課題はどの地域でもそうだと思う。市でも本当に大変な状況であることは理解してもらっていると思うが、本当に大変。この現状をしっかりと訴えたい。

7	賑わいの場、出会いの場ができるようなイベントを作ってほしい。地域で独身の男性も、女性もいるが、結婚しない人が増えたように感じる。結婚に魅力がなくなったのかもしれないが、巡りあわせがないのも要因があるのではないか。賑わいの場をつくるようにしてほしい。
8	ベジパークのマスコットTシャツ ベジパークのHPがない 農協は出している もっとPRをしていくためにHPも整備してほしい
9	安芸高田市全体的に若い人、特に今から子どもを育てたいって人が引っ越してきたいなって思ってもらえるようにするには アピールポイントがあったらいいな 近所に子どもがいなくて寂しい 小さくてよいのでお祭りみたいな地域の交流できるイベントが欲しい 住んでいる街に誰がいるか正直わからない 地域の人が集まる機会がない 世代を広く周知していくには 執行部の中に広報する専門がいるのか 常に更新する行動が大切 八千代町はイベントを比較やっている地域なのに告知が少ない 安芸高田市の飲食店の情報ももっとあればいいのに
10	祭りの運営参加 30代で安芸高田市に帰ってきて 祭りを継続する取り組みをしている 祭りの数が減っている かんげん祭が小さくなり 神楽を見るだけの祭りになりつつある 若い人も含め祭りに参加するようになれば 小単位で楽しみながら祭りに参加している 言うだけではなく参加していくようにすれば参加者が増える 吉田町でもフリーマーケットもやっているが、グループづくりをして進めていければ 市外に出た子ども世帯も祭りのある日に帰ってこようかと思えるように継続するのがよい。家の片付けでいろんなものが出てくる フリーマーケットの売り上げは他県の震災の義援金にした LPレコードの本体も他家の片付けから出てくる 家の片付けにも価値がある 最近は昔のものがブームになっているから。
11	駅の活性化 駅周辺が暗い 要望はするがなかなか進まない 学生が夜に暗い中で待っているとところを見る 夜の軒下 照明も暗い 陸橋 ロータリー 市道も暗い トイレも暗いが管轄がばらばらで話が進まない ひとつの部署で管理してほしい 話がしやすい状態をつくりたい ソーラーの照明を使用したりしている向原駅の各施設の管轄を統一できないか 駅の2階3階の状況がわからない 駅の利活用がもったいない
12	水の管理も大変 水路を調べる必要がある 雨の流れがよくないと生活に支障がある。人と人のつながりも減っていく お金よりも大切なことがある 生活の活力は人のつながりも大切。
13	空き家はだんだん増えている。入ってくる人がいない。駅周辺もさみしい。一人暮らししている。空き家の価値が少しずつ上がっている。都会で暮らしにくい人には魅力。空き家を探しているのでチャンスといえばチャンス。活性化のための活動。一緒にやろうという人が少ない。駅周辺から活性化をしっかりとしたい。年配の人が元気になるような取り組みができればいい。新しいことに手を付けにくい。高齢者が置いていかれるのではないか。高齢者が元気でいることでつながっていく。駅周辺の道路をにぎやかにしていければ。年配の人が集まりたい。農業人口も減っている。家族の中でも働きにくい子世帯。学校に行く孫世帯。地域活性化のために共同で草取りや野菜を育てたりしている。共同で資金出資をして土地を活用している。「高齢者中心とした駅周辺の魅力化」
14	体験から出る気づき。参加を含めて知ることができる。発信されていることについて、どこで決まったことなのかわかりにくい。もっと見える化してほしい。組織・会議体（自治体など）わかりにくい。議員が行政の中の仕組みを把握しているか気になる

15	市議会について。川根の郵便局長。現市長予算について。税金だけでは難しい。郵便局の機能拡大については成果のひとつと感じる。褒めて協力していく必要がある。執行部全体で協力して政策をつくる必要。各部署が調べることができる。できることもある。昔の道路事業を国からとっている。そういうことをたくさんしていく必要がある。
16	東京都とか電動自動車を買う補助金 安芸高田市にとって化石燃料と電気関連との取組は進めていく気があるか 遅れているように感じる ガソリンスタンドが減っている 電気自動車を購入するときなど補助をしたりしないのか ラジオ電波の入りに進歩を感じない
17	向原町の良さ、魅力の一つに有能な人材の多さがあり、資源だと考える。他の地域から移住者も多い。 それを活かす取組は、先ずは知ることから始めてほしい。 行政にも動いてもらい、魅力をアピールする取り組みをしてほしい。
18	市内をめぐる観光ツアーが組めるのではないかな。 市民が魅力を再確認、再発見していくべき。 イベントなども多いので、知ってもらいたい。 行政任せではなく、市民がまちづくりに興味を持って協力して進めていける雰囲気を作って、動かしていけると良い。
19	安芸高田市は自然が多い環境。朝起きたら小鳥が囀り、まわりの空気の流れが分かる、良い環境である。
20	全国的に少子化が問題となっている。安芸高田市としてはどのような取り組みをされているか。
21	子どもを産める女性が、都会の方に出てしまうところが課題なのでは。
22	前市長と比べ、現市長はゆるいような印象を受ける。検討で終わる。比較をすると、前市長はできることはできる、できんことはできんと言われていた。
23	吉田病院は建て替えとなると莫大な予算がかかると思うが。
24	子どもたちがもっと大切にされるまちを目指してほしい。今の子どもたち、これから生まれる子どもたちを大切にスローガンとして出してほしい。
25	(子ども基本法をもとにする形で) 子どもの基本条例という条例をまち独自で作ることはどうか。
26	前市長も色々あったが、やっぱり安芸高田市の名前を出すとみんな知っているまちになった。知名度を良い方向で利用して、まちとして活気を取り戻すことができるのでは。
27	SNS (TikTok) で「広島県内で一番住みたくない町」で安芸高田市がワースト1に上げられた動画がある。改善をしていく必要があるのでは。
28	市役所職員の配置換えで、迷惑を被ることも多い。
29	安芸高田市のみならず、全国的に孤独死が増加している、課題である。未然に防ぐ対策を考えていかなければいけない。

30	自分の親についても考えていくが、近所の方も高齢化や空き家が多くなり、隣近所での声掛けなども難しくなっている。地域コミュニティとしては大きな課題。
31	近所の方のお風呂の電気を気にしたり、声掛けを意識的にするようにしている。
32	助けてあげたいと思っても、当事者が望んでいない場合もある。なかなか線引きが難しい。
33	子どもたちが集まって遊べる場所がない 年頃の子たちが遊ぶところ 子ども会もなくなった ラジオ体操もしていない 地域単位で遊べる場所があるといいが 行くところがない (広場的な場所)

議会関係

1	今の議会は正常な議会に見える。今後も質も高いレベルを求めて活動してほしい。以前はインターネットで中継の様子を見ていた。傍聴にいつでも以前よりよい議会になったことを感謝している。引き続きしっかり取り組んでほしい。(激励)
2	この会を知ったのは議員の方に直接聞いた。議会広報だけでなく、議員と話をする事で知ることもあるし、回覧板なども活用して、議員が広報をしっかりすることで議会にも興味を持ってもらえる。議員とあった時でも懇談会についての話がない場合がある。市のラインにも議会の地域懇談会についての情報はなかった。話をすること、目に触れること、関心を高めることを議員は忘れずに活動してほしい。議会や委員会が終了したときにも対話集会を開くことも必要ではないか。それが関心を高めることになる。
3	選挙の時や、議員名簿には、議員を選挙で選ぶために、無所属はやめてどこに所属しているかを表明すべきでないか。
4	議員名簿の連絡先はのせるべきだ。直接議員と話しづらいので、せめてメールアドレスなどで連絡したいので表示をお願いしたい。連絡先を表示することで問題、課題がでたらその内容を解決のために積極的に発表して、誹謗中傷に対応していくことも大切ではないか
5	安芸高田市の実情がわからない。たとえば、学校でも登校できない児童生徒のために、フリースクール等の受け皿ができてはいるが、受け皿ではなく、学校で対応できるのではないかと考えてしまう。今はまったく見えない。そういった状況をしっかり知るために、市も議会も現場を見て、何が問題かということをしっかり見せてほしい。市の現状をしりたい。
6	議会の権限、役割の説明も必要ではないか。たとえば、請願、陳情を受理し処理する権限があるなど、そういった議会の在り方も市民への説明があればより議会にも関心が高まるのではないか。
7	前提として議会は審議を行う機関であるところだが、この会の発言をどうするのか？空き家について安芸高田市の状況の資料があると思っていた。資料を用意することも必要ではないか。
8	議会中継で議会を見ても予算のこと議論の中身がわからない。議員の皆さんが今回の予算案はこのような内容ですよというような会を持ってほしい。そうするとその後、議会を見てもわかりやすいと思う。また、議会の前が理想だか、議会が終わってからも内容を説明してほしい。
9	議会だよりは広報委員会で議論し発刊されているが、議会としての情報発信を広報委員会議会のYouTubeチャンネルで発信できないのか。せっきやく議会のチャンネルがあるので有効活用してほしい。その時には、誹謗中傷対策を徹底し、情報は生もの、議会の状況をすぐ知りたいという気持ちもあるので、切り抜きを含めて前向きに検討してほしい。

10	<p>子どもたちは安芸高田市に帰らないといっている。そこで孫のため、庭を整備したり、遊具をつくったりし、孫に楽しい、ここに帰りたいたいと親に言ってもらえるように頑張っている。しかし、54号ぞいの山の中にゴミが捨てられている。回収している。処分も大変。市に相談して、不法投棄の看板をいただいたりしているが、建てても捨てるのが収まらない。捨てる人は捨てる。市としても、罰金など条例等の整備ができないか。市も議会も地域も、自分たちがこの町を大切にしているんだという姿をみせる必要がある。空き家も地域で守っているが、山のゴミはどうにもできないので市にどうにかするように議員も提案してほしい。</p>
11	<p>研修について、執行部、議員もどんどんお金をかけて外にしっかり勉強してほしい。議員には政務調査費もあるので調査研究をもっとしてほしい。ここにはお金をかけていいと思っている。それでよい提案ができれば安い。</p>
12	<p>地域懇談会でテーマを決めてやっているが、フリートークだけのほうが、いろんな意見がでてよいのではないかと。時間がない中でそれぞれの思いを出してもらった方が、しっかりした議論ができるのではないかと。</p>
13	<p>議員名簿にやはり公人なので住所、連絡先をのせるべきではないか</p>
14	<p>今回の地域懇談会について、開催前に知った。ビラだけでなく、児童館や美容室などにもお願いして口コミで発信してもらうなど告知と周知の方法を考えてほしい。開催について、時期と時間についても検討してほしいし、またYouTubeを使用しての中継や、様々なテーマや年代別の地域懇談会についても検討してほしい。お盆などを利用すると帰省した若者も興味を持ってくれるのではないかと。安芸高田を知ることで帰ってくるきっかけもできるのではないかと。</p>
15	<p>賑わいの場、出会いの場ができるようなイベントを作してほしい。地域で独身の男性も、女性もいるが、結婚しない人が増えたように感じる。結婚に魅力がなくなったのかもしれないが、巡りあわせがないのも要因があるのではないかと。賑わいの場をつくるようにしてほしい。</p>
16	<p>地域懇談会の中の議員名簿 記載されている「無所属」の定義づけ</p>
17	<p>体験から出る気づき。参加を含めて知ることができる。発信されていることについて、どこで決まったことなのかわかりにくい。もっと見える化してほしい。組織・会議体（自治体など）わかりにくい。議員が行政の中の仕組みを把握しているか気になる</p>
18	<p>議員の活動に個人差があるように感じる 年間の活動を月報などでもよいので公表をするなどしてほしい 同じフォーマットにしてフラットに見ることができる状態はできないか 個人一人ひとりが何をしているか見える化 計画なども含めると安心感にもつながる 議員全員が見えることが大事 イメージの払しょくにもなる まとめとしてあるほうが見る側としたら楽</p>
19	<p>議会中継のアーカイブ放送を、その日のうちに出してほしい。</p>

20	<p>向原駅の利活用について議会はどのように考えているのか。駅ビルの利活用で暮らしとJRを繋ぐ必要がある。 当初コロナ禍でスタートしたコワーキングスペースなど企業誘致があったようだが、市の取組がよく分からない、見えない。地域にもっと情報を出してほしい。 人が集まるような魅力あるスポット（例えばジャンソーなど）を作るなどして楽しい賑わいの場を作してほしい。</p>
21	<p>議会の仕組みがわかりづらい。 議員の住所や連絡先がない人もいるのはなぜか。 政治として農林水産業を一本化した予算化を地方から国へ要求できないか。 議員の数は多い方が行政を動かせると思う。 政治を市民が動かせるようになると、良いと思う。</p>
22	<p>国の政治、県の政治、市の政治、ひと繋ぎで考えられるような目線を持ってほしい。 安芸高田市の中だけ見つめても良くないと感じる。 現在は会派が存在しないとのことだが、議員の支持政党など、市民から見て議員の色が分かるような広報も必要なのでは。</p>
23	<p>①今回に限らず、参加者が少ないと感じた。振興会単位での開催も検討してみてもは。②宣伝の仕方や告知の仕方を見直す必要があるのでは。お太助フォンや市のLINE活用など。③若い世代の方に来てほしい。（若い世代の意見も聞きたい。）④盆などに開催するのもどうか。⑤高齢者は夕方以降の運転がしにくい。開催時間の検討も必要なのでは。</p>
24	<p>①前市長の裁判結果として、市が最高裁で敗訴。33万円の損害賠償を受けることとなった。当時の議員がなぜそこにブレーキがかけられなかったのか。②裁判費用だけでなく、市の職員が裁判に出向いてのコストもあったと思う。③監査結果で「問題なし」となったが、本当に問題はなかったのか。当時の監査委員にも疑問。④市が支払った金額をきちんと前市長に請求してほしい。謝罪についても。求償権をしっかりと行使してほしい。⑤新しい議会と新しい執行部が尻拭いをする結果となる。しっかりしてほしい。</p>
25	<p>（前市長の裁判結果について）新しい議会と新しい執行部が尻拭いをする結果となる。しっかりしてほしい。</p>
26	<p>監査結果で「問題なし」となったが、本当に問題はなかったのか。当時の監査委員にも疑問。</p>
27	<p>こういった場があることを嬉しく感じる。議員一人一人に目を向けるキッカケともなるし、ひととなり分かる貴重な場。議員と市民との考えや価値観に近いことが重要。市民だけに思いがあっても、議員だけに思いがあってもダメと思う。</p>

28	合併当時、73名の議員。その後35000人の時に24人の定数。現在の人口は25000人で16名。もう少し人数を減らして、報酬を増やして、専業でもやっていけるような状況にすることが大切では。議会というのは市長と対等であり、なくてはならないもの。極端な減らし方については考えなければいけないが、徐々に減らしていくことが必要では。議会が年4回に分かれている理由として、農業の合間に議会が開けるような状況だった。（個人的見解？）時代は変化し今は機械化・自動化も進んでいる。通年議会にすることも可能なのでは。少数精鋭で、任期を長く務められるように考えることが大切と思う。
29	国や県に向かって、陳情要望を執行部、議会、市民一丸となってあげるべき。もっとできるのでは。黙っているより、声を上げる方がまだ良いのでは。
30	一般質問等を見ていても、かつての緊張感というのは感じなくなっている。議員側も正直、楽になったのではないか。
31	地域懇談会は年に1回しか意見は聞かないのか。年4回くらいはやってくれるべきでは。
32	選挙公約、出来もしないことを書かないでほしい。公約の振り返りの機会が地域懇談会であってもいいのでは。
33	委員会視察をしたり、議員研修をもっと増やすことも必要では。
34	若い人の参加者が少ない。限られた人の意見しか出ないのは問題。
35	議員定数について、12人に減らして欲しい。市の予算もない中で、減らすべき。議員報酬についてはあげても良いのではと感じる。
36	年収700～800万ほど必要なのでは。
37	600万円台もあれば、市内の労働者と比較すると少ないとは思わない。
38	結局のところは、収入に見合うだけの仕事をしてくれればいい。
39	人数が多いことで、人任せになる側面もあろうかと思う。
40	議員になってから勉強する者ばかり。
41	議員は市民の声を汲み取って実行に移していくのが仕事。議員が先頭に立って働いてほしい。
42	合併以降の人口減少で、地域の機能が失われつつある。地域は頑張っているが限界がある。議会としての積極的なアクションを求める。
43	郷野小と可愛小の統合により、学校とのつながりが希薄になり、地域の寂しさを実感している。地域住民の価値観が多様化しクレームが寄せられる。地域行事による世代間交流の工夫と課題。
44	議員報酬の低さが子育て世代の議員参画を難しくしている。専業で活動できる水準の報酬設定が必要

45	若い世代の市政参画を促すため、議員の活動実態や課題を広報で周知すべき。地域懇談会での議員報酬や働き方の議論を、議会広報にてしっかり発信することを要望。
46	<p>芸備線という基幹インフラの活用が不十分で、利用促進策も乏しい。市としての戦略や投資が見えず、「予算がない」で終わる傾向がある。若者や通勤者への情報発信が足りない。</p> <p>①駅周辺の空き地を市が無料駐車場として提供、②芸備線を使えば市内へ1時間で通勤通学が可能という広報の実施、③駅利用でのポイント制・特典連携（地元店舗・高校連携）の実施を提案する。</p>
47	<p>② 八千代の総合施設の活用と文化施設の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八千代総合施設は家賃収入があり一定の資産性があるが、十分活用されていない。 ・可動椅子の修繕費などコストはかかるが、文化施設の切り捨ては地域の衰退に直結。 ・支所の活動や存在意義が見えにくく、機能不全。 <p>● 提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所でなく文化施設を中核とする地域活性化拠点の再設計 ・集落支援員を中心にした地域運営型の施設活用（イベント運営、空間貸し） ・修繕予算は家賃収入を活かし、住民と共に透明な議論を通じて判断 ・支所は機能を絞り、コンパクト化・移転の検討
48	<p>③ 空き家・空き施設の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクは機能しているが、予備軍を含めると実態は追いついていない。 ・空き家をきれいに維持するには手間・コストがかかる。 <p>● 提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き施設・空き家の民間貸出制度の整備と公開化 ・空き施設には用途限定付きで賃貸または売却（例：起業・宿泊・アトリエなど） ・高校生や移住者と連携した空き家活用プロジェクトの立ち上げ
49	<p>④ 若者・高校生の参画と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の居場所がなく、チャレンジ機会も不足。 ・若者のアイデアは出てくるが、行政側の受け皿や予算が追いついていない。 ・支援策が長期的で具体性に欠ける。 <p>● 提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「若者まちづくりチャレンジ補助金」等を創設し、少額でも機動的に支援 ・高校・大学・若者団体との官民協働プロジェクト（イベント・空間・交通）を実施 ・若者による空間デザイン・拠点運営・アクション提案の制度化
50	<p>市役所が、平日昼間しか開いていないことで、働く住民が不便。支所の役割が不明確・非効率であり、市民との対話も乏しい。</p> <p>①開庁時間の延長（週1回夜間・休日窓口の導入）、②支所の再編・統廃合+地域運営組織との連携で小回りの利く行政体制を目指す。③支所に代わる**「地域連携ステーション（住民×行政）」モデルの試行**を提案する。</p>
51	<p>吉田町に機能や予算が集中しているとの不満がある（社協・商工会・文化団体など）。また、他町は「切り捨てられている」との住民感情もある。</p> <p>①地域別事業費の見える化や拠点再配置の検討、②商工会・社協などについても「地域ごとの分室配置」「拠点ローテーション」などを検討、③市民との合意形成を図るプロセスを重視し、透明性を確保、を提案する。</p>

52	<p>向原駅の駐車場の場所が分かりづらい。駅周辺に有料駐車場があるという情報も知られていない。案内板や地図が不十分で、初めての利用者にとって不親切。</p>
53	<p>高校生の意見や視点をまちづくりに活かす機会の創出に関する提案・要望する。 ①高校生が懇談会やまちづくり議論の場に参加できるよう、参加機会の創出を希望。特に「高校生が参加しやすい時間帯（放課後や探究授業時間帯）での開催」など柔軟な運営。 ②地域の懇談会や政策提案の場において、高校生の視点が反映されるようにしてほしい。 ③過去には参加が難しかったが、現在の授業体制では参加・連携が可能。</p>
54	<p>向原駅などでは通学・通勤や地域間移動の拠点として一定の潜在需要がある。また広島市への通勤にも芸備線はもっとアピールできる。駅を“使いやすい拠点”として整備することが重要であり、次の3点を提案する。 ①空き地の駐車場化（無料開放） 行政または第三セクターが駅周辺の空き地・未利用地を整備し、無料または低額の「駅利用者専用駐車場」として提供 ② 駐車場整備と連動した周知広報 地元自治体とJR、学校、企業が連携し、「向原町から芸備線を使うと〇分／交通費は〇円」といった利便性を見える化した案内 利用者への**乗車ポイント制度・利用証明での優遇 ③ 高校・地域住民と連携した駅活用 向原高校の探究活動とも連動し、駅の魅力発信やマップづくり、利用促進策を学生が提案・実行 地域住民による「駅を守る会」的な草の根活動と、制度的な支援を組み合わせる</p>
55	<p>①議会の政策立案能力の強化が必要 ②新人議員の教育や政務活動費の有効活用を通じて、議会全体のボトムアップを図るべき。 ③議員自身のスキルアップと人材育成が必要。</p>

56	<p>地域振興会の現状と課題 ～維持から再構築へ～</p> <p>①形式化・固定化する組織運営 一度役員になった人がずっとやり続ける現状。モチベーションは下がり、若年層の参画も難しい。</p> <p>②地域の衰退と場の消失 集会所や子ども会の機能が薄れ、かつての地域コミュニティの核が消えつつある。高齢化とともに継承も困難。</p> <p>③振興会に頼りきりの地域づくりの限界 振興会まかせではもう限界。地域の未来を語るには、活動維持ではなく、住民の本音に寄り添った再設計が必要。</p> <p>④若い世代の巻き込む 吉田町では、予算の一部を若者に委ねたことで自発的な関与が生まれた事例も。「やらされる」から「やってみたい」への転換が鍵。</p> <p>④「地域のこれから」をどう描くか 我が子呼び戻したいと思えるか？高齢者が安心して住み続けられるか？地域の持続可能性そのものが問われている。</p> <p>⑤再生へのヒントはあるが、動けない 空き家や市営住宅を活用したいとの声もあるが、方法が分からず、エネルギーも湧かない。できない理由で立ち止まる。</p> <p>⑥合併という選択肢も視野に 維持が難しいなら振興会の合併もとの意見もあるが、既存の枠組みに縛られ一足飛びには進まないのが現実。</p>
57	<p>情報が届かないまちの現実</p> <p>①イベント情報を知ったときにはもう終わっていた。周知が不十分で、関心があっても参加できない現実がある。</p> <p>②広報チャンネルの分散と見落とし 広報紙・ホームページ・LINE・お助けフォンでの情報の見逃しが生じている。LINEなど新たな手段は「存在自体を知らなかったとの声もある。</p> <p>③SNS時代に求められる個の発信力 情報は自ら探す時代。市民はSNSを活用して情報収集を行っている一方で、市側の発信力や議員一人ひとりの情報共有の動きはまだ弱い。市議一人ひとりの発信にも期待している。</p> <p>④民間イベントは取りこぼされがち 行政主催のイベントは公式に発信されるが、民間や地域主催のものは広報されにくい。こうした情報こそ、議員が拾い、発信の架け橋になることが期待されている。</p>
58	<p>限界集落をどう考えるか？ 高齢化が進む地域、これからどうしていけばいいのか？</p>
59	<p>議員に、どう関わればよいか？ ・実際の声： ・LINEで議員に個別相談 ・ネット検索で連絡先を探した ・名刺をもらって直接連絡した 声を届けることが、地域を変える一歩になる、との参加者からの意見があった。</p>
60	<p>昔からいる議員さんからみた新体制についてどう感じているか思っているか 様子を聞きたい 意見もいえない 外から見てYouTubeの使い方の苦手な方がいるように感じる</p>

61	4. 議員の発言に対する進捗確認 選挙時に訪れた議員に市道の草刈りについて聞いたら「やります」と言っていたが、その後どうなったか不明。選挙の時だけか？
----	--

国・県関係

1	①地域に馴染むのがなかなか難しい課題もある。嫌な思いをするくらいなら行かない、と なってしまう ②コミュニティを維持していくことすら難しくなっている。③多様性や個人の尊重へ社会全 体が変わっていく中で、どこまでを線引きするのか、難しい問題。
2	教育は教えるものではなく、感じ取るものであろうと思っている。ニーズに作られていくよ うな教育をすることについて、問題視している。
3	インボイスには反対。いくつも民間企業、零細企業に負担がかかってきている。
4	党としての方針などもあるだろうが、国会議員含め、真剣に考えるべき。
5	トヨタは6000億還付金をもらっている。日産は2900億ほど還付金が入っている。ぜひ、一考 してほしい。
6	向原高校が廃校になれば、吉田高校だけになるが、寂しいと思う。吉田高校に進学する生徒 の人数も減少していると思う。魅力がなくなっているのでは。かつては高宮がバスケッ トが強いとか、三次はサッカーの上手い子がいるとか、特色があったように思う。
7	現在、甲子園での広島野球部について問題が出てきているが、安芸高田市の高校でもある 種、子どもの人権を無視するような雰囲気や、そのような押さえつけるような規律があるの ではないか。
8	(国や自治体の土地管理について) 信託、供託制度をもっと作るべき。外国人の土地所有問 題もある。法律をもっと考えて作る必要がある。個人に負担がかかる現状の制度ではなく、 国が責任を持つ仕組みを作れないか。現状の問題も、スムーズに解決するようになるので は。
9	(国や自治体の土地管理について) 市が預かって利活用する仕組みはあり得るのか。家や土 地を市が、国が管理することはなかなか難しいのでは。
10	(国や自治体の土地管理について) 行政が全部引き受ける、というのは一定の需要があるの では。
11	(国や自治体の土地管理について) 災害等の有事の際に、名義が不確定な土地等を触れない ケースがある。そういった場合に国や自治体が責任を持って管理できるような法改正ができ ないものか。